

(仮称) 上土幌町役場庁舎等改修 基本設計 (案)

基本設計 参考図

設計概要書

■ 工事名	フリガナ (カシヨウ) 加シヨウカガ ^カ フヨウトカウイ ^リ 林カウイ(ア)
	(仮称) 上士幌町役場庁舎等改修工事 基本設計 (案)
■ 建築主	住所 〒080-1492 TEL 01564-2-2111
	北海道河東郡上士幌町字上士幌東3 線238 番地
	フリガナ 加シヨウカガ ^カ
	(会社名等) 氏名 上士幌町役場 代表者名
■ 敷地概要	地名地番
	(住居表示) 北海道河東郡上士幌町字上士幌東3 線238 番地
都市計画区域等	<input type="checkbox"/> 都市計画区域内 (<input type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 市街化調整区域 <input type="checkbox"/> 区域区分非設定)
	<input type="checkbox"/> 準都市計画区域内 ■都市計画区域及び準都市計画区域外
防火地域	<input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域 ■指定なし
その他の区域、地域、地区、街区	(■法第22条区域)
高度地区	指定なし
日影規制 (隣地の規制)	適用なし
道路幅員 (m)	西側 約 18.0 m (国道 241 号線) 北側 約 14.2 m
最大幅員の接道長さ	約 106.3 m
敷地状況	平坦
敷地面積	20,700 m ²
用途地域	指定なし
面積	20,700 m ² m ² m ²
指定建蔽率	- % %
指定容積率	- % %
建蔽率限度	- % (計算式)
容積率限度	- % (計算式)
	<input type="checkbox"/> 法52条7項による容積率の上限の数値 (1.5倍以下) を定めた区域 (住居用途の建物)

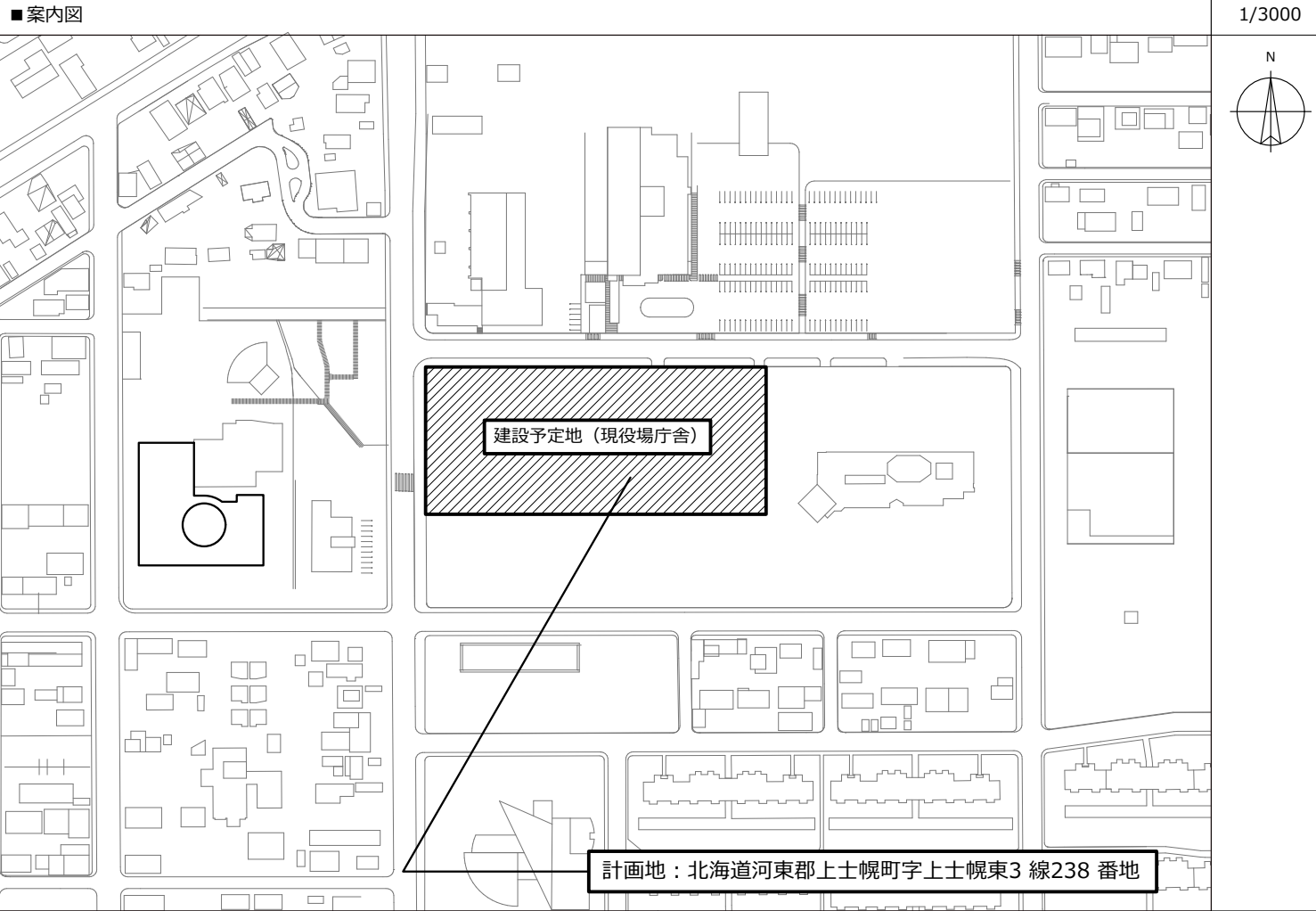
■ 建物概要	
主要用途 (区分記号)	08470 事務所 (庁舎) ・08550 集会場 ・08990 その他
工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 ■増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> 大規模の修繕 <input type="checkbox"/> 大規模の模様替
建築面積 (m ²)	申請部分 申請以外の部分 合計
*建築面積 (A)	2553.3 0.00 2553.3
建蔽率 (A/敷地面積)	12.33 %
延べ面積 (m ²)	申請部分 申請以外の部分 合計
*延べ面積 (B) (自動車庫等を含む)	4049.55 0.00 4049.55
住宅の用途に供する床面積 (D)	- 老人ホーム等に類する部分 -
*地階の住宅又は老人ホーム等に類する部分 (F)	- *備蓄倉庫の部分 (J) -
*エレベーターの昇降路 (G)	- *蓄電池の設置部分 (K) -
*共同住宅の共用の廊下等の部分 (H)	- *自家発電設備の設置部分 (L) -
*自動車庫等の部分 (I)	- *貯水槽の設置部分 (M) -
容積対象面積 (C)	4049.55 m ²
容積率 (C/敷地面積)	19.56 %
建築物の棟数	申請に係る建築物の数 3 同一敷地内の他の建築物の数 0
*耐火種別	■耐火建築物 ■避難時倒壊防止建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物 () ■その他
*建築物の最高の高さ	役場庁舎棟: 19.515 m 新棟: 9.200 m
*建築物の最高の軒の高さ	役場庁舎棟: 19.000 m 新棟: 8.100 m
*階数	地下 1 階 地上 2 階 塔屋 3 階
工事期間	着工 2026年 04月 01日 (未定) 竣工 2028年 1月 31日 (未定)
	工期 約 22.0ヶ月 (未定)

■ 床面積表			
階	申請部分	申請以外の部分	合計 (m ²)
PH3	24.00	0	24.00
PH2	54.32	0	54.32
PH1	101.32	0	101.32
2	1018.30	0	1018.30
1	2499.39	0	2499.39
B1	352.22	0	352.22
合計 (m ²)	4049.55	0	4049.55

■ 構造概要 (詳細は構造設計図書による)	
主要構造	●鉄筋コンクリート造 ○鉄骨造 ○鉄骨鉄筋コンクリート造
	●木造 ○その他 ()
地業	●砂利 ○既成コンクリート杭 ○鋼杭 ○場所打ちコンクリート杭
	○その他 ()
基礎	○独立基礎 ●連続基礎 ●べた基礎
	○その他
その他	○

■ 設備概要 (詳細は設備設計図書による)	
電気設備	●受変電 ●発電機 ○蓄電池 ●幹線
	●動力 ○中央監視 ●電灯コンセント ○避雷
	●電話 ○拡声装置 ●インターホン ○テレビ共同受信
	○駐車場管制 ○防犯警報 ●自動火災報知 ○煙感連動制御
	○ガス漏れ火災警報 ○ヒーティング ○非常警報
衛生設備	●給水 ●給湯 ●排水・通気 ●衛生器具
	●ガス ●消火 ○汚水処理 ●厨房器具
	○
空調設備	●冷熱源機器 ●温熱源機器 ●空調機器 ●配管
	●ダクト ●換気 ○排煙 ○自動制御
	○ヒーティング ○
諸連絡機械設備	●エレベーター ○機械駐車 ○エスカレーター ○小荷物専用昇降機

■ 外部仕上	
役場庁舎棟 屋根	改質アスファルトシート防水+保護コンクリート
	断熱材: A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 b t 300
	既存コンクリートスラブ補修 太陽光パネル・設備機器用基礎
笠木	アルミ製品 電解二次着色
外壁 (1)	湿式外断熱工法 可とう形外装薄塗材 E
	断熱材: ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材2号 t 100
	既存RC壁仕上タイルを撤去の上、補修・下地調整
軒天	トドマツ線甲板 t 15 木材保護塗料3回塗り
	一部、高圧木毛セメント板 t 15 OP塗装
	スラグせっこう板 t 8 (NBL: アスノン 同等品) +軽量鉄骨下地



■ 外部仕上	
新棟 屋根	シート防水 接着工法
	野地合板 t 9+9 千鳥張り
	垂木: 105X45 @455 + 母屋: 105X105 @910+ 小屋束: 105X105
	透湿防水シート
	断熱材: フェノールフォーム断熱材1種2号CII t 300 (旭化成: 材フォーム同等品)
	構造用合板 t 24 N75釘 四周釘打ち@150
軒先水切	水切材: 塩ビ積層鋼板 t 0.35
破風	SGL鋼板 t 0.35 立平葺
外壁 (1)	SGL鋼板 t 0.35 立平葺 + 透湿防水シート
	耐水GB t 12.5 + 通気胴縁: 18X45 @455 + 透湿防水シート
外壁 (2)	トドマツ杉羽目板 t 15 木材保護塗料3回塗り
	通気胴縁: 18X45 @455 + 透湿防水シート
外壁下地 共通	断熱材: フェノールフォーム断熱材1種2号CII t 100 (旭化成: 材フォーム同等品)
	気密フィルム t 0.20
	OSB合板 t 9 N50釘打ち (外周@150・中通り@150) + 木下地
	断熱材: 高性能GW16kg/m ² t 105 充填
	気密フィルム+室内側: GB t 15 + 15
軒天	トドマツ線甲板 t 15 木材保護塗料3回塗り
	一部、高圧木毛セメント板 t 15 OP塗装
	スラグせっこう板 t 8 (NBL: アスノン 同等品) + 木下地
	(準耐火構造30分軒裏: QF030RS-0134)

ポーチ床	磁器質タイル 300X300 張り 一部、ゴムチップ敷 コンクリート下地
テラス床	防錆・防蟻処理カラマツデッキ材 t 30 敷 木下地 RC基礎
建具・ガラス	アルミガラリ、鋼製ドア、鋼製シャッター、ステンレスサッシ
	アルミ・樹脂複合サッシ Low-E複層ガラス (中空層: Ar16)
	樹脂製サッシ Low-Eペアガラス (中空層: Ar16)
基礎断熱	断熱材: A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 b t 100 打込
床下断熱	断熱材: A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 b t 100 土間下
サイン	館名サイン・案内板サイン
■ 屋外工事	
建物外周	化粧砂利敷
駐車スペース・車路	アスファルト舗装 (重車両用)
アプローチ・通路床	インターロッキング敷 土間コンクリート下地
植栽等	公園工事 (別途工事)
■ 別途工事	
	特記なき移動家具・什器・備品
	特記なきカーテン・置敷きカーペット
	特記なきサイン工事
	地中障害物撤去処分費
	電波障害調査費及び補償費、近隣対策費
	諸官庁指導事項及び工事
	電話局線引込・機器供給取付及び配線工事

注 *	は建築基準法施行令第2条1項の各号による。	TITLE	(仮称) 上士幌町役場庁舎等改修 基本設計 (案)	NAME	設計概要書	SCALE	-
	建築物の最高の高さ、最高の軒の高さは、平均地盤面よりの高さによる。	NO.	A - 01	DATE	2023.12.05. 2024.02.24.	PHASE	参考図
	地階の住宅の部分は法52条2項による。自動車庫等の部分は令2条3項による。			SIGN			
	共同住宅の廊下等は法52条4項による。						
	・本工事の範囲は、本設計図書に示された範囲とする。						

■ 内部仕上表

■ 共通事項	階	室名	内装制限	床レベル		床	幅木	壁	回り縁	天井		天井高	備考			
				躯体	仕上					下地	仕上					
1. かさ上げコンクリート、保護コンクリートは、普通コンクリートを使用する。 2. 保護コンクリートには、ワイヤメッシュ(6φ100×100)を打込む。 3. 便所、湯沸室等水を使用する場所にいる石こうボードは、防水石こうボードとする。 4. 外部廻りシーリングは、原則として二重シールとするか、これに代わる2段の止水を施す。 5. 天井下地は、軽量鉄骨製とする。 6. 岩綿吸音板の下地は、準不燃石こうボードt9.5とする。 7. コンクリート面均し部は、構造スラブ厚に10mm(仕上材含む)の増打とする。 8. 同一レベルで床仕上の異なる部位には、ステンレス床目地柵FB-6×19を境界線に設ける。 9. コンクリートに石こうボード面張りの場合は、GL工法とする。 10. 石こうボードを目地なし仕上とする場合は継目処理は、Vカット工法またはテーバー工法とし、特記なき場合、Vカット工法とする。 11. 床下地盤に特記なき場合はコンクリート金ごてとする。 12. ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分は、特記なき限り、建築基準法の規制対象外建築材料(☆☆☆☆等)とする。	1	風除室(3)		-10	±0	押さえコンクリート t 90 コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、ゴムチップ敷	木製巾木 OSCL	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	なし	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	岩綿吸音板 t 12	2800	
		風除室(4)		-10	±0	押さえコンクリート t 90 コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、ゴムチップ敷	木製巾木 OSCL	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	なし	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	岩綿吸音板 t 12	2800	
		風除室(5)		-10	±0	押さえコンクリート t 90 コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、ゴムチップ敷	木製巾木 OSCL	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	なし	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	岩綿吸音板 t 12	2800	
		町民スペース		-108	±0	押さえコンクリート t 90 コンクリートスラブ	直貼り用無垢フローリング t 18 ウレタン塗装	木製巾木 OSCL	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	塩ビ	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	岩綿吸音板 t 12	3000	

■ 凡例

塗料	記号	名称	記号	名称
		SOP	合成樹脂調合ペイント	S
	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	SUS	ステンレス
	AE	アクリル樹脂エナメル	AL	アルミニウム
	B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付け	BU	黄銅
	FE	フタル酸樹脂エナメル	TB	テラゾーブロック
	UE	ポリウレタン樹脂エナメル	GB	石こうボード
	ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル	SiB	けい酸カルシウム板
	FUE	ふっ素樹脂エナメル		
	XE	エポキシ樹脂塗料	RC	鉄筋コンクリート
	CE	塩化ゴム系塗料	CB	コンクリートブロック
	LE	ラッカーエナメル	PCa	プレキャストコンクリート
	EP-1	合成樹脂エナメル(屋外用)	ALC	軽量気泡コンクリート
	EP-2	合成樹脂エナメル(屋内用)	LGS	軽量鉄骨
	G-EP	つや有り合成樹脂エナメル	W	木
	T-EP	合成樹脂エナメルシヨン模様塗料		
	MP	多彩模様塗料	PL	プレート
	CL	クリヤラッカー	ChPL	チェッカープレート
	UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリヤ	DPL	デッキプレート
	MR	マスチック塗材	FB	フラットバー
	OS	オイルステイン	HL	ヘアライン
			BF	鏡面仕上
			J&P	ジェット・ポリッシュ仕上

■ 内装制限			
記号	内装制限	記号	内装制限の根拠
不(下)	不燃材(下地共)	a1~a6	令 第128条の5 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項 告示 第1436号 四 二 (一)
不	不燃材	c	告示 第1436号 四 二 (二)
		d	告示 第1436号 四 二 (三)
準(下)	準不燃材(下地共)	e	告示 第1436号 四 二 (四)
		f	告示 第1436号 四 ホ
準	準不燃材	g	
		h	
難	難燃材	i4,6,7,9	令 第112条 第4項、第6項、第7項、第9項
		j	令 第120条 第2項
		k	令 第123条 第1項 2号
		l	令 第123条 第3項 3号
		m	令 第128条の3 第1項 3号
		n	令 第129条の13の3 第3項 5号

■ 不燃材料等一覧表		
名称(符号)	材質・規格・寸法など	不燃認定番号
石綿スレート	フレキシブル板・パーライト板	告示第1400号(不燃材料)
化粧石綿スレート	不燃化粧パネル・カラススレート	告示第1400号(不燃材料)
不燃石こうボード	不燃石こうボード 12.5、15 mm	告示第1400号(不燃材料)
不燃化粧石こうボード	不燃換層石こうボードF9.5mm	NM-8613(不燃材料)
不燃換層石こうボード	9.5 mm	NM-8613(不燃材料)
無機繊維強化石こうボード	12.5、15、21 mm	NM-8615(不燃材料)
ロックウール吸音板	岩綿吸音板	告示第1400号(不燃材料)
化粧繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号(不燃材料)
繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号(不燃材料)
不燃シーリング石こうボード	不燃防水石こうボード 12.5 mm	NM-9639(不燃材料)
無機質壁紙1級+法定不燃材料、不燃石こうボード		NM-9888~9954(不燃材料)※
石こうボード	準不燃石こうボード 9.5 mm	告示第1401号(準不燃材料)
化粧石こうボード	9.5 mm	告示第1401号(準不燃材料)
シーリング石こうボード	防水石こうボード 9.5 mm	GM-9826(準不燃材料)
ビニル壁紙2級+法定不燃材料 不燃石こうボード		QM-9393~9487(準不燃材料)※
		RM-9090~9324(難燃材料)※
塗料塗装	SOP・VE	NM-8585(不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	QM-9816(準不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	RM-9364(難燃材料)

■ 材料表

名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考	名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考
磁器質タイル t 10			トドマツ羽目板 t 12	OSCL	
直貼り用無垢フローリング t 18			木柱表し	CL	
タイルカーベット t 6.5	東リ：GA100 同等品		岩綿吸音板 t 12		
ビニル床シート t 2.5	東リ：フロアリユーム マーブルNW 同等品		GW吸音材 t 50 40kg/m2		
木製巾木	H = 100 OSCL		木製ルーバー	150X45 OSCL @250程度 スチール吊り材	
ソフト巾木 H = 100	東リ：スタンダード H = 100 同等品		木梁表し	CL	
アルミ製巾木	アルマイト H = 100		OAフロア(置敷タイプ)	H=100	
EP-II					

注	本表は本工事に用いる内外装仕上を表す。	TITLE	(仮称) 上土幌町役場庁舎等改修 基本設計(案)		NAME	新棟内部仕上表(1)		SCALE	-
	凡例・共通事項・材料表に記載の事項は、本表以外の設計図にも適用する。	NO.	A - 02		DATE	2023.10.28. 2023.12.05. 2024.02.24.		SIGN	
	※ 壁装材不燃認定番号は各メーカー毎に確認する。	PHASE	参考図						

■ 内部仕上表

■ 共通事項		下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。 ただしこれと異なる表示のある場合を除く。
1.	かさ上げコンクリート、保護コンクリートは、普通コンクリートを使用する。	
2.	保護コンクリートには、ワイヤメッシュ(6φ100×100)を打込む。	
3.	便所、湯沸室等水を使用する場所に用いる石こうボードは、防水石こうボードとする。	
4.	外部廻りシーリングは、原則として二重シールとするか、これに代わる2段の止水を施す。	
5.	天井下地は、軽量鉄骨製とする。	
6.	岩綿吸音板の下地は、準不燃石こうボードt9.5とする。	
7.	コンクリート直均し部は、構造スラブ厚に10mm(仕上材含む)の増打とする。	
8.	同一レベルで床仕上の異なる部位には、ステンレス床目地構FB-6×19を境界線に設ける。	
9.	コンクリートに石こうボード直張りの場合は、GL工法とする。	
10.	石こうボードを目地なし仕上とする場合の継目処理は、Vカット工法またはテーバー工法とし、特記なき場合、Vカット工法とする。	
11.	床下地欄に特記なき場合はコンクリート金ごてとする。	
12.	ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分は、特記なき限り、建築基準法の規制対象外建築材料(F☆☆☆☆等)とする。	

■ 凡例				
塗 料	記号	名称	記号	名称
	SOP	合成樹脂調合ペイント	S	鋼(スチール)
	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	SUS	ステンレス
	AE	アクリル樹脂エナメル	AL	アルミニウム
	B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付け	BU	黄銅
	FE	フタル酸樹脂エナメル	TB	テラゾーブロック
	UE	ポリウレタン樹脂エナメル	GB	石こうボード
	ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル	SiB	けい酸カルシウム板
	FUE	ふっ素樹脂エナメル		
	XE	エポキシ樹脂塗料	RC	鉄筋コンクリート
	CE	塩化ゴム系塗料	CB	コンクリートブロック
	LE	ラッカーエナメル	PCa	プレキャストコンクリート
	EP-1	合成樹脂17kg/m ³ 以上(屋外用)	ALC	軽量気泡コンクリート
	EP-2	合成樹脂17kg/m ³ 以下(屋内用)	LGS	軽量鉄骨
	G-EP	つや有り合成樹脂17kg/m ³ 以上	W	木
	T-EP	合成樹脂エマルジョン模様塗料		
	MP	多彩模様塗料	PL	プレート
	CL	クリヤラッカー	ChPL	チェッカープレート
	UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリヤ	DPL	デッキプレート
	MR	マスチック塗材	FB	フラットバー
OS	オイルステイン	HL	ヘアライン	
		BF	鏡面仕上	
		J&P	ジェット・ポリッシュ仕上	

■ 内装制限		令：建築基準法施行令 告示：建設省告示
記号	内装制限	内装制限の根拠
不 (下)	不燃材(下地共)	a1~a6 令 第129条 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項 b 告示 第1436号 四 八 (一) c 告示 第1436号 四 八 (二) d 告示 第1436号 四 八 (三)
準 (下)	準不燃材(下地共)	e 告示 第1436号 四 八 (四) f 告示 第1436号 四 二
準	準不燃材	g h
難	難燃材	i4,6,7,9 令 第112条 第4項、第6項、第7項、第9項 j 令 第120条 第2項 k 令 第123条 第1項 2号 l 令 第123条 第3項 3号 m 令 第128条の3 第1項 3号 n 令 第129条の13の3 第3項 5号

■ 不燃材料等一覧表		
名称(符号)	材質・規格・寸法など	不燃認定番号
石綿スレート	フレキシブル板・パーライト板	告示第1400号(不燃材料)
化粧石綿スレート	不燃化粧パネル・カラスレート	告示第1400号(不燃材料)
不燃石こうボード	不燃石こうボード 12.5、15 mm	告示第1400号(不燃材料)
不燃化粧石こうボード	不燃繊維石こうボード9.5 mm	NM-8613(不燃材料)
不燃繊維石こうボード	9.5 mm	NM-8613(不燃材料)
無機繊維強化石こうボード	12.5、15、21 mm	NM-8615(不燃材料)
ロックウール吸音板	岩綿吸音板	告示第1400号(不燃材料)
化粧繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12 mm	告示第1400号(不燃材料)
繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12 mm	告示第1400号(不燃材料)
不燃シーリング石こうボード	不燃防水石こうボード 12.5 mm	NM-9639(不燃材料)
無機質壁紙1級+法定不燃材料、不燃石こうボード		NM-9888~9954(不燃材料)※
石こうボード	準不燃石こうボード 9.5 mm	告示第1401号(準不燃材料)
化粧石こうボード	9.5 mm	告示第1401号(準不燃材料)
シーリング石こうボード	防水石こうボード 9.5 mm	QM-9826(準不燃材料)
ビニル壁紙2級+法定不燃材料 不燃石こうボード		QM-9393~9487(準不燃材料)※ RM-9090~9324(難燃材料)※
塗料塗装	SOP・VE	NM-8585(不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	QM-9816(準不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	RM-9364(難燃材料)

階	室名	内装制限	床レベル		床	幅木	壁	回り縁	天井		天井高	備考			
			躯体	仕上					下地	仕上					
1	授乳室		-10	+0	コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	塩ビ	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II	2800	
	バリアフリーWC(3)		-10	+0	コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	塩ビ	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II	2800	
	WWC(3)		-10	+0	コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	塩ビ	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II	2800	
	MWC(3)		-10	+0	コンクリートスラブ	磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	100	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL 一部、木柱表し CL	塩ビ	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	EP-II	2800	
2	天井裏設備スペース(1)(2)		±0	±0	コンクリートスラブ 打放し補修	防塵塗装	なし	-	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	GW吸音材 t 50 40kg/m ²	なし	GB t 15+15 (2重張り) +木下地	GW吸音材 t 50 40kg/m ²	2800	

■ 材料表					
名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考	名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考
磁器質タイル t 10			トドマツ羽目板 t 12	OSCL	
直貼り用無垢フローリング t 18			木柱表し	CL	
タイルカーペット t 6.5	東リ：GA100 同等品		岩綿吸音板 t 12		
ビニル床シート t 2.5	東リ：フロアリューム マーブルNW 同等品		GW吸音材 t 50 40kg/m ²		
木製巾木	H=100 OSCL		木製ルーバー	150X45 OSCL @250程度 スチール吊り材	
ソフト巾木 H=100	東リ：スタンダード H=100 同等品		木梁表し	CL	
アルミ製巾木	アルマイト H=100		OAフロア(置敷タイプ)	H=100	
EP-II					

注	本表は本工事に用いる内外装仕上を表す。	TITLE (仮称) 上土幌町役場庁舎等改修 基本設計(案)	NAME 新棟内部仕上表(2)	SCALE -	
	凡例・共通事項・材料表に記載の事項は、本表以外の設計図にも適用する。				
	※ 壁装材不燃認定番号は各メーカー毎に確認する。	NO. A - 03	DATE 2023.10.28 2023.12.05. 2024.02.24.	SIGN	PHASE 参考図

内部仕上表

■ 共通事項	下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。 ただしこれと異なる表示のある場合を除く。											
	1. かさ上げコンクリート、保護コンクリートは、普通コンクリートを使用する。 2. 保護コンクリートには、ワイヤメッシュ(6φ100×100)を打込む。 3. 便所、湯沸室等水を使用する場所に用いる石こうボードは、防水石こうボードとする。 4. 外部廻りシーリングは、原則として二重シールとするか、これに代わる2段の止水を施す。 5. 天井下地は、軽量鉄骨製とする。 6. 岩綿吸音板の下地は、準不燃石こうボードt9.5とする。 7. コンクリート面均し部は、構造スラブ厚に10mm(仕上材含む)の増打とする。 8. 同一レベルで床仕上の異なる部位には、ステンレス床目地柵FB-6×19を境界線に設ける。 9. コンクリートに石こうボード面張りの場合は、GL工法とする。 10. 石こうボードを目地なし仕上とする場合の継目処理は、Vカット工法またはテーバー工法とし、特記なき場合、Vカット工法とする。 11. 床下地盤に特記なき場合はコンクリート金ごてとする。 12. ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分は、特記なき限り、建築基準法の規制対象外建築材料(F☆☆☆☆等)とする。											

■ 凡例											
塗料	記号	名称	記号	名称							
	SOP	合成樹脂調合ペイント	S	鋼(スチール)							
VE	塩化ビニル樹脂エナメル	SUS	ステンレス								
AE	アクリル樹脂エナメル	AL	アルミニウム								
B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付け	BU	黄銅								
FE	フタル酸樹脂エナメル	TB	テラゾーブロック								
UE	ポリウレタン樹脂エナメル	GB	石こうボード								
ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル	SiB	けい酸カルシウム板								
FUE	ふっ素樹脂エナメル										
XE	エポキシ樹脂塗料	RC	鉄筋コンクリート								
CE	塩化ゴム系塗料	CB	コンクリートブロック								
LE	ラッカーエナメル	PCa	プレキャストコンクリート								
EP-1	合成樹脂1777イソイット(屋外用)	ALC	軽量気泡コンクリート								
EP-2	合成樹脂1777イソイット(屋内用)	LGS	軽量鉄骨								
G-EP	つや有り合成樹脂1777イソイット	W	木								
T-EP	合成樹脂エマルジョン模様塗料										
MP	多彩模様塗料	PL	プレート								
CL	クリヤラッカー	ChPL	チェッカープレート								
UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリヤ	DPL	デッキプレート								
MR	マスチック塗材	FB	フラットバー								
OS	オイルステイン	HL	ヘアライン								
		BF	鏡面仕上								
		J&P	ジェット・ポリッシュ仕上								

■ 内装制限				令：建築基準法施行令 告示：建設省告示											
記号	内装制限	記号	内装制限の根拠												
不(下)	不燃材(下地共)	a1~a6	令 第128条の5 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項												
不	不燃材	b	告示 第1436号 四 二 (一)												
準(下)	準不燃材(下地共)	c	告示 第1436号 四 二 (二)												
準	準不燃材	d	告示 第1436号 四 二 (三)												
		e	告示 第1436号 四 二 (四)												
		f	告示 第1436号 四 ホ												
		g													
		h													
難	難燃材	i4,6,7,9	令 第112条 第4項、第6項、第7項、第9項												
		j	令 第120条 第2項												
		k	令 第123条 第1項 2号												
		l	令 第123条 第3項 3号												
		m	令 第128条の3 第1項 3号												
		n	令 第129条の13の3 第3項 5号												

■ 不燃材料等一覧表			■ 材料表											
名称(符号)	材質・規格・寸法など	不燃認定番号												
石綿スレート	フレキシブル板・パーライト板	告示第1400号(不燃材料)												
化粧石綿スレート	不燃化粧パネル・カラススレート	告示第1400号(不燃材料)												
不燃石こうボード	不燃石こうボード 12.5、15 mm	告示第1400号(不燃材料)												
不燃化粧石こうボード	不燃繊維強化石こうボードF9.5mm	NM-8613(不燃材料)												
不燃繊維強化石こうボード	9.5mm	NM-8613(不燃材料)												
無機繊維強化石こうボード	12.5、15、21 mm	NM-8615(不燃材料)												
ロックウール吸音板	岩綿吸音板	告示第1400号(不燃材料)												
化粧繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号(不燃材料)												
繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号(不燃材料)												
不燃シーリング石こうボード	不燃防水石こうボード 12.5 mm	NM-9639(不燃材料)												
無機質壁紙1級+法定不燃材料、不燃石こうボード		NM-9888~9954(不燃材料)※												
石こうボード	準不燃石こうボード 9.5 mm	告示第1401号(準不燃材料)												
化粧石こうボード	9.5 mm	告示第1401号(準不燃材料)												
シーリング石こうボード	防水石こうボード 9.5 mm	GM-9826(準不燃材料)												
ビニル壁紙2級+法定不燃材料 不燃石こうボード		GM-9393~9487(準不燃材料)※ RM-9090~9324(難燃材料)※												
塗料塗装	SOP・VE	NM-8585(不燃材料)												
塗料塗装	SOP・VE	GM-9816(準不燃材料)												
塗料塗装	SOP・VE	RM-9364(難燃材料)												

注	本表は本工事に用いる内外装仕上を表す。										
	凡例・共通事項・材料表に記載の事項は、本表以外の設計図にも適用する。										
	※ 壁装材不燃認定番号は各メーカー毎に確認する。										
			TITLE (仮称) 上土幌町役場庁舎等改修 基本設計(案)				NAME 役場庁舎棟 内部仕上表(1)				SCALE -
		NO.	DATE	SIGN		PHASE					
		A-04	2023.10.28. 2023.12.05. 2024.02.24.			参考図					

■ 内部仕上表

階	室名	内装制限	床レベル		床	幅木		壁	回り縁	天井		天井高	備考
			躯体	仕上		H	下地			仕上			
■ 共通事項 下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。 ただしこれと異なる表示のある場合を除く。 1. かさ上げコンクリート、保護コンクリートは、普通コンクリートを使用する。 2. 保護コンクリートには、ワイヤメッシュ(6φ100×100)を打込む。 3. 便所、湯沸室等水を使用する場所に用いる石こうボードは、防水石こうボードとする。 4. 外部廻りのシーリングは、原則として二重シールとするか、これに代わる2段の止水を施す。 5. 天井下地は、軽量鉄骨製とする。 6. 岩綿吸音板の下地は、準不燃石こうボードt9.5とする。 7. コンクリート直均し部は、構造スラブ厚に10mm(仕上材含む)の増打とする。 8. 同一レベルで床仕上の異なる部位には、ステンレス床目地構FB-6×19を境界線に設ける。 9. コンクリートに石こうボード直張りの場合は、GL工法とする。 10. 石こうボードを目地なし仕上とする場合の継目処理は、Vカット工法またはテーバー工法とし、特記なき場合、Vカット工法とする。 11. 床下地欄に特記なき場合はコンクリート金ごてとする。 12. ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分は、特記なき限り、建築基準法の規制対象外建築材料(Ｆ☆☆☆☆等)とする。													

記号		名称	
SOP	合成樹脂調合ペイント	S	鋼(スチール)
VE	塩化ビニル樹脂エナメル	SUS	ステンレス
AE	アクリル樹脂エナメル	AL	アルミニウム
B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付け	BU	黄銅
FE	フタル酸樹脂エナメル	TB	テラソブロック
UE	ポリウレタン樹脂エナメル	GB	石こうボード
ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル	SiB	けい酸カルシウム板
FUE	ふっ素樹脂エナメル		
XE	エポキシ樹脂塗料	RC	鉄筋コンクリート
CE	塩化ゴム系塗料	CB	コンクリートブロック
LE	ラッカーエナメル	PCa	プレキャストコンクリート
EP-1	合成樹脂17kg/m ³ イト(屋外用)	ALC	軽量気泡コンクリート
EP-2	合成樹脂17kg/m ³ イト(屋内用)	LGS	軽量鉄骨
G-EP	つや有り合成樹脂17kg/m ³ イト	W	木
T-EP	合成樹脂エマルジョン模様塗料		
MP	多彩模様塗料	PL	プレート
CL	クリヤラッカー	ChPL	チェッカープレート
UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリヤ	DPL	デッキプレート
MR	マスチック塗材	FB	フラットバー
OS	オイルステイン	HL	ヘアライン
		BF	鏡面仕上
		J&P	ジェット・ポリッシュ仕上

記号		名称	
RC	鉄筋コンクリート		
CB	コンクリートブロック		
PCa	プレキャストコンクリート		
ALC	軽量気泡コンクリート		
LGS	軽量鉄骨		
W	木		
PL	プレート		
ChPL	チェッカープレート		
DPL	デッキプレート		
FB	フラットバー		
HL	ヘアライン		
BF	鏡面仕上		
J&P	ジェット・ポリッシュ仕上		

記号		名称	
RC	鉄筋コンクリート		
CB	コンクリートブロック		
PCa	プレキャストコンクリート		
ALC	軽量気泡コンクリート		
LGS	軽量鉄骨		
W	木		
PL	プレート		
ChPL	チェッカープレート		
DPL	デッキプレート		
FB	フラットバー		
HL	ヘアライン		
BF	鏡面仕上		
J&P	ジェット・ポリッシュ仕上		

記号		名称	
RC	鉄筋コンクリート		
CB	コンクリートブロック		
PCa	プレキャストコンクリート		
ALC	軽量気泡コンクリート		
LGS	軽量鉄骨		
W	木		
PL	プレート		
ChPL	チェッカープレート		
DPL	デッキプレート		
FB	フラットバー		
HL	ヘアライン		
BF	鏡面仕上		
J&P	ジェット・ポリッシュ仕上		

記号		名称	
RC	鉄筋コンクリート		
CB	コンクリートブロック		
PCa	プレキャストコンクリート		
ALC	軽量気泡コンクリート		
LGS	軽量鉄骨		
W	木		
PL	プレート		
ChPL	チェッカープレート		
DPL	デッキプレート		
FB	フラットバー		
HL	ヘアライン		
BF	鏡面仕上		
J&P	ジェット・ポリッシュ仕上		

階	室名	内装制限	床レベル	床	幅木	壁	回り縁	天井	天井高	備考
1	出納室		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 タイルカーベット t 6.5 (東リ: GA100 同等品) OAフロア (置敷タイプ) H=50	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	出納書庫		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 タイルカーベット t 6.5 (東リ: GA100 同等品) OAフロア (置敷タイプ) H=50	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	会議室(1)		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 タイルカーベット t 6.5 (東リ: GA100 同等品) OAフロア (置敷タイプ) H=50	木製巾木 OSCL H=100	EP- II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL	塩ビ	GBt9.5 LGS下地 岩綿吸音板 t 12	2600	
	会議室(2)		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 タイルカーベット t 6.5 (東リ: GA100 同等品) OAフロア (置敷タイプ) H=50	木製巾木 OSCL H=100	EP- II 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL	塩ビ	GBt9.5 LGS下地 岩綿吸音板 t 12	2600	
	第3書庫(納税住民課)		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 タイルカーベット t 6.5 (東リ: GA100 同等品) OAフロア (置敷タイプ) H=50	木製巾木 OSCL H=100	EP- II 一部、既存RC壁モルタル補修	塩ビ	GBt9.5 LGS下地 岩綿吸音板 t 12	2600	
	給湯(1)		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2500	
	印刷室		-2 +50	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品) OAフロア(置敷タイプ) H=50	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	管理人室		-2 ±0	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	宿直室		-2 +30	既存コンクリートスラブ補修 畳敷 t 30 一部、縁甲板 t 30 CL	木製巾木 OSCL H=100	ビニルクロス(不燃) 一部、トドマツ羽目板 t 12 OSCL	塩ビ	GBt9.5 LGS下地 ビニルクロス(不燃)	2400	
	ロッカー室(1)		-6 ±0	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	男子更衣室 女子更衣室		-6 ±0	既存コンクリートスラブ補修 タイルカーベット t 6.5 (東リ: GA100 同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	洗濯室		-6 ±0	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	下流し・洗濯パン SK
	乾燥室		-2 ±0	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	物品庫(4)		-2 ±0	既存コンクリートスラブ補修 ビニル床シート t 2.5 (東リ: フロアリウム マーブルNW同等品)	ソフト巾木	EP- II	塩ビ	LGS下地 化粧GB t 9.5	2600	
	バリアフリーWC(1)		-10 ±0	既存コンクリートスラブ補修 磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	EP- II	塩ビ	GBt9.5 LGS下地 岩綿吸音板 t 12	2500	

名称(符号)		材質・規格・寸法など		備考	
磁器質タイル t 10					
汚垂石 D=600					
畳敷 t 60					
タイルカーベット t 6.5	東リ: GA100 同等品				
タイルカーベット t 9	東リ: GA100 同等品 OAフロア(置敷タイプ)				
ビニル床シート t 2.5	東リ: フロアリウム (マーブルNW同等品)				
木製巾木	H = 100 OSCL				
ソフト巾木	東リ: スタンダード H = 100 同等品				
アルミ製巾木 アルマイト	H = 100				
EP- II					
トドマツ羽目板 t 12	OSCL				
岩綿吸音板 t 12					
化粧GB t 9.5					
OAフロア(置敷タイプ)	H=50				

名称(符号)		材質・規格・寸法など		備考	
アルミ製巾木	アルマイト H = 100				
EP- II					
トドマツ羽目板 t 12	OSCL				
岩綿吸音板 t 12					
化粧GB t 9.5					
OAフロア(置敷タイプ)	H=50				

注	本表は本工事に用いる内外装仕上を表す。
	凡例・共通事項・材料表に記載の事項は、本表以外の設計図にも適用する。
	※ 壁装材不燃認定番号は各メーカー毎に確認する。

TITLE (仮称) 上土幌町役場庁舎等改修基本設計(案)		NAME 役場庁舎棟 内部仕上表(2)		SCALE -
NO. A - 05	DATE	SIGN	PHASE 参考図	
	2023.10.28			
	2023.12.05.			
	2024.02.24.			

内部仕上表

■ 共通事項	階	室名	内装制限	床レベル		床	幅木	壁		回り縁	天井		天井高	備考		
				躯体	仕上			下地	仕上		下地	仕上				
1. かさ上げコンクリート、保護コンクリートは、普通コンクリートを使用する。 2. 保護コンクリートには、ワイヤメッシュ(6φ100×100)を打込む。 3. 便所、湯沸室等水を使用する場所に用いる石こうボードは、防水石こうボードとする。 4. 外部廻りシーリングは、原則として二重シールとするか、これに代わる2段の止水を施す。 5. 天井下地は、軽量鉄骨製とする。 6. 岩綿吸音板の下地は、準不燃石こうボードt9.5とする。 7. コンクリート直均し部は、構造スラブ厚に10mm(仕上材含む)の増打とする。 8. 同一レベルで床仕上の異なる部位には、ステンレス床目地構FB-6×19を境界線に設ける。 9. コンクリートに石こうボード直張りの場合は、GL工法とする。 10. 石こうボードを目地なし仕上とする場合の継目処理は、Vカット工法またはテーバー工法とし、特記なき場合、Vカット工法とする。 11. 床下地側に特記なき場合はコンクリート金ごてとする。 12. ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分は、特記なき限り、建築基準法の規制対象外建築材料(F☆☆☆☆等)とする。	1	WWC(1)		-10	±0	既存コンクリートスラブ補修	磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	100	GB t 12.5+LGS90	EP- II	塩ビ	GBt9.5 LGS下地	岩綿吸音板 t 12	2500	
		MWC(1)		-10	±0	既存コンクリートスラブ補修	磁器質タイル t 10 一部、汚垂石 D=600	アルミ製巾木 アルマイト	100	GB t 12.5+LGS90	EP- II	塩ビ	GBt9.5 LGS下地	岩綿吸音板 t 12	2500	

■ 凡例

塗料	記号	名称	記号	名称
	SOP	合成樹脂調合ペイント	S	鋼 (スチール)
VE	塩化ビニル樹脂エナメル	SUS	ステンレス	
AE	アクリル樹脂エナメル	AL	アルミニウム	
B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付け	BU	黄銅	
FE	フタル酸樹脂エナメル	TB	テラゾーブロック	
UE	ポリウレタン樹脂エナメル	GB	石こうボード	
ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル	SiB	けい酸カルシウム板	
FUE	ふっ素樹脂エナメル			
XE	エポキシ樹脂塗料	RC	鉄筋コンクリート	
CE	塩化ゴム系塗料	CB	コンクリートブロック	
LE	ラッカーエナメル	PCa	プレキャストコンクリート	
EP-1	合成樹脂エナメル(屋外用)	ALC	軽量気泡コンクリート	
EP-2	合成樹脂エナメル(屋内用)	LGS	軽量鉄骨	
G-EP	つや有り合成樹脂エナメル	W	木	
T-EP	合成樹脂エマルジョン模様塗料			
MP	多彩模様塗料	PL	プレート	
CL	クリヤラッカー	ChPL	チェッカープレート	
UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリヤ	DPL	デッキプレート	
MR	マスチック塗材	FB	フラットバー	
OS	オイルステイン	HL	ヘアライン	
		BF	鏡面仕上	
		J&P	ジェット・ポリッシュ仕上	

■ 内装制限			
記号	内装制限	記号	内装制限の根拠
不(下)	不燃材(下地共)	a1~a6	令 第128条の5 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項 告示 第1436号 四 二 (一)
不	不燃材	c	告示 第1436号 四 二 (二)
準(下)	準不燃材(下地共)	d	告示 第1436号 四 二 (三)
準	準不燃材	e	告示 第1436号 四 二 (四)
		f	告示 第1436号 四 ホ
		g	
		h	
難	難燃材	i4,6,7,9	令 第112条 第4項、第6項、第7項、第9項
		j	令 第120条 第2項
		k	令 第123条 第1項 2号
		l	令 第123条 第3項 3号
		m	令 第128条の3 第1項 3号
		n	令 第129条の13の3 第3項 5号

■ 不燃材料等一覧表

名称(符号)	材質・規格・寸法など	不燃認定番号
石綿スレート	フレキシブル板・パーライト板	告示第1400号 (不燃材料)
化粧石綿スレート	不燃化粧パネル・カラススレート	告示第1400号 (不燃材料)
不燃石こうボード	不燃石こうボード 12.5、15 mm	告示第1400号 (不燃材料)
不燃化粧石こうボード	不燃積層石こうボードF9.5 mm	NM-8613 (不燃材料)
不燃積層石こうボード	9.5 mm	NM-8613 (不燃材料)
無機繊維強化石こうボード	12.5、15、21 mm	NM-8615 (不燃材料)
ロックウール吸音板	岩綿吸音板	告示第1400号 (不燃材料)
化粧繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号 (不燃材料)
繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号 (不燃材料)
不燃シーリング石こうボード	不燃防水石こうボード 12.5 mm	NM-9639 (不燃材料)
無機質壁紙 1級+法定不燃材料、不燃石こうボード		NM-9888~9954 (不燃材料) ※
石こうボード	準不燃石こうボード 9.5 mm	告示第1401号 (準不燃材料)
化粧石こうボード	9.5 mm	告示第1401号 (準不燃材料)
シーリング石こうボード	防水石こうボード 9.5 mm	QM-9826 (準不燃材料)
ビニル壁紙 2級+法定不燃材料 不燃石こうボード		QM-9393~9487 (準不燃材料) ※
		RM-9090~9324 (難燃材料) ※
塗料塗装	SOP・VE	NM-8585 (不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	QM-9816 (準不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	RM-9364 (難燃材料)

■ 材料表

名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考	名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考
磁器質タイル t 10			アルミ製巾木	アルマイト H=100	
汚垂石 D=600			EP- II		
畳敷 t 60			トドマツ羽目板 t 12	OSCL	
タイルカーベット t 6.5	東リ：GA100 同等品		岩綿吸音板 t 12		
タイルカーベット t 9	東リ：GA100 同等品 OAフロア (置敷タイプ)		化粧GB t 9.5		
ビニル床シート t 2.5	東リ：フロアリユーム (マーブルNW同等品)		OAフロア (置敷タイプ)	H=50	
木製巾木	H=100 OSCL				
ソフト巾木	東リ：スタンダード H=100 同等品				

注	本表は本工事に用いる内外装仕上を表す。	TITLE （仮称）上土幌町役場庁舎等改修 基本設計（案）	NAME 役場庁舎棟 内部仕上表（3）	SCALE -	
	凡例・共通事項・材料表に記載の事項は、本表以外の設計図にも適用する。				
	※ 壁装材不燃認定番号は各メーカー毎に確認する。	NO. A - 06	DATE 2023.10.28. 2023.12.05. 2024.02.24.	SIGN	PHASE 参考図

■ 内部仕上表

■ 共通事項	下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。 ただしこれと異なる表示のある場合を除く。																						
	階	室名	内装制限	床レベル		床		幅木		壁		回り縁	天井		天井高	備考							
1. かさ上げコンクリート、保護コンクリートは、普通コンクリートを使用する。	2. 保護コンクリートには、ワイヤメッシュ(6φ100×100)を打込む。	3. 便所、湯沸き等水を使用する場所に用いる石こうボードは、防水石こうボードとする。	4. 外部廻りシーリングは、原則として二重シールとするか、これに代わる2段の止水を施す。	5. 天井下地は、軽量鉄骨製とする。	6. 岩綿吸音板の下地は、準不燃石こうボードt9.5とする。	7. コンクリート直均し部は、構造スラブ厚に10mm(仕上材含む)の増打とする。	8. 同一レベルで床仕上の異なる部位には、ステンレス床目地構FB-6×19を境界線に設ける。	9. コンクリートに石こうボード直張り場合は、GL工法とする。	10. 石こうボードを自地なし仕上とする場合の継目処理は、Vカット工法またはテーバー工法とし、特記なき場合、Vカット工法とする。	11. 床下地欄に特記なき場合はコンクリート金ごてとする。	12. ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分は、特記なき限り、建築基準法の規制対象外建築材料(F☆☆☆☆等)とする。	躯体	仕上	下地	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	天井高	備考	

■ 凡例

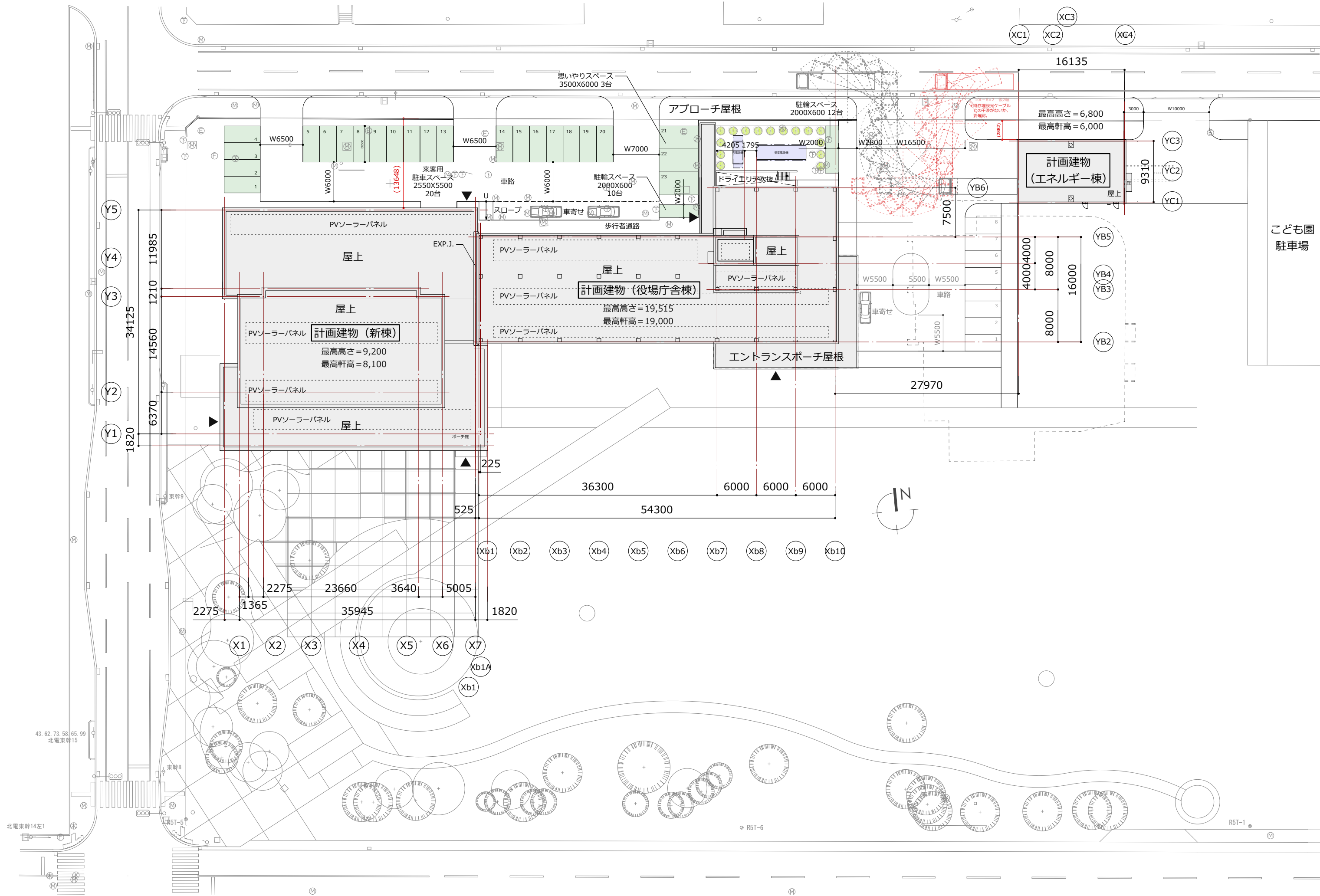
塗料	記号	名称	記号	名称
	SOP	合成樹脂調合ペイント	S	鋼 (スチール)
VE	塩化ビニル樹脂エナメル	SUS	ステンレス	
AE	アクリル樹脂エナメル	AL	アルミニウム	
B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付け	BU	黄銅	
FE	フタル酸樹脂エナメル	TB	テラソブロック	
UE	ポリウレタン樹脂エナメル	GB	石こうボード	
ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル	SiB	けい酸カルシウム板	
FUE	ふっ素樹脂エナメル			
XE	エポキシ樹脂塗料	RC	鉄筋コンクリート	
CE	塩化ゴム系塗料	CB	コンクリートブロック	
LE	ラッカーエナメル	PCa	プレキャストコンクリート	
EP-1	合成樹脂177300パイント (屋外用)	ALC	軽量気泡コンクリート	
EP-2	合成樹脂177300パイント (屋内用)	LGS	軽量鉄骨	
G-EP	つや有り合成樹脂177300パイント	W	木	
T-EP	合成樹脂エマルジョン模様塗料			
MP	多彩模様塗料	PL	プレート	
CL	クリヤラッカー	ChPL	チェッカープレート	
UC	ポリウレタン樹脂ラッカークリヤ	DPL	デッキプレート	
MR	マスチック塗材	FB	フラットバー	
OS	オイルステイン	HL	ヘアライン	
		BF	鏡面仕上	
		J&P	ジェット・ポリッシュ仕上	

■ 内装制限		令：建築基準法施行令 告示：建設省告示	
記号	内装制限	記号	内装制限の根拠
不(下)	不燃材(下地共)	a1~a6	令 第129条 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項
		b	告示 第1436号 四 八 (一)
		c	告示 第1436号 四 八 (二)
		d	告示 第1436号 四 八 (三)
準(下)	準不燃材(下地共)	e	告示 第1436号 四 八 (四)
		f	告示 第1436号 四 二
準	準不燃材	g	
		h	
難	難燃材	i4,6,7,9	令 第112条 第4項、第6項、第7項、第9項
		j	令 第120条 第2項
		k	令 第123条 第1項 2号
		l	令 第123条 第3項 3号
		m	令 第128条の3 第1項 3号
		n	令 第129条の13の3 第3項 5号

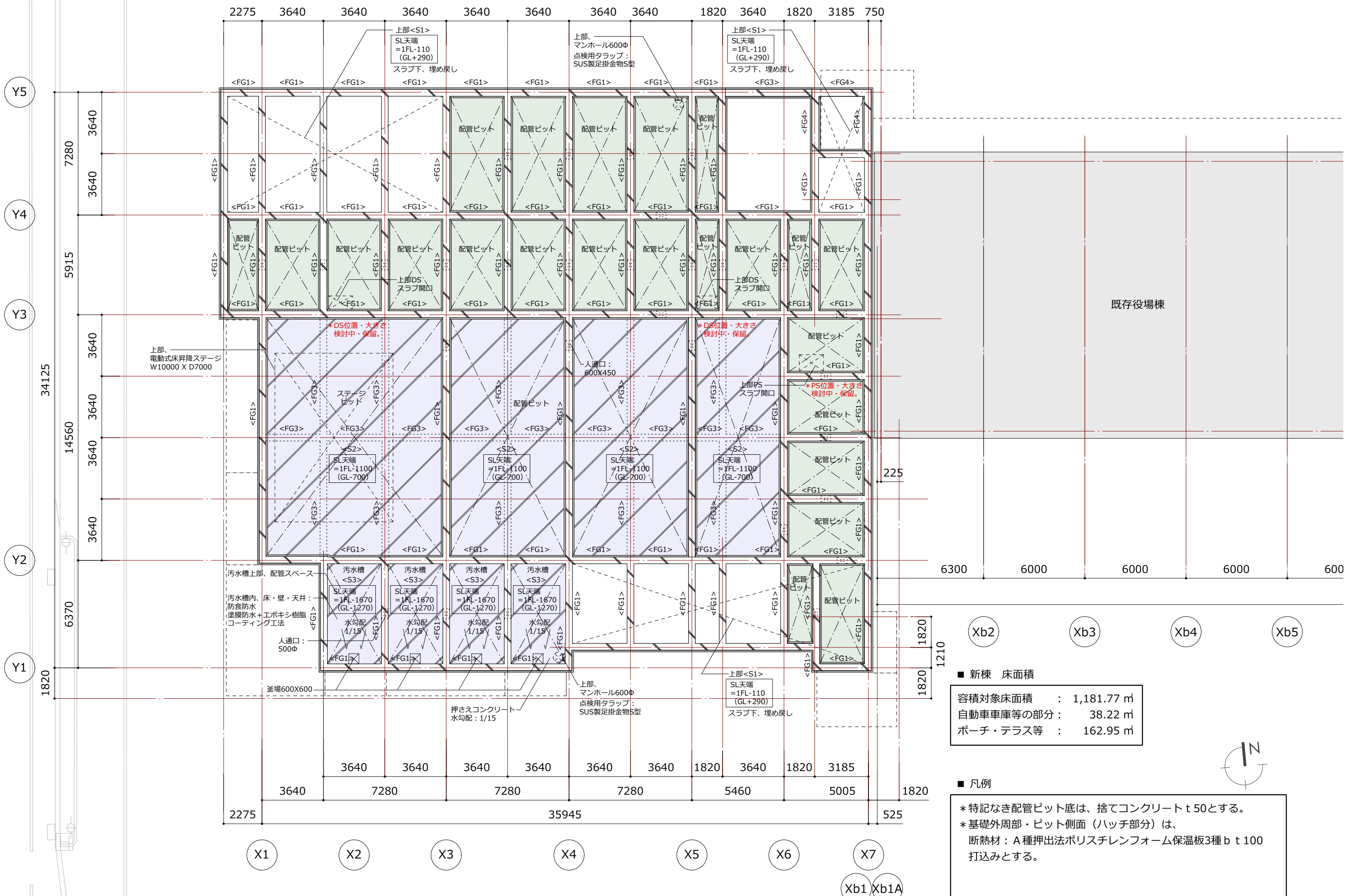
■ 不燃材料等一覧表		
名称(符号)	材質・規格・寸法など	不燃認定番号
石綿スレート	フレキシブル板・パーライト板	告示第1400号 (不燃材料)
化粧石綿スレート	不燃化粧パネル・カラーズスレート	告示第1400号 (不燃材料)
不燃石こうボード	不燃石こうボード 12.5、15 mm	告示第1400号 (不燃材料)
不燃化粧石こうボード	不燃積層石こうボード9.5 mm	NM-8613 (不燃材料)
不燃積層石こうボード	9.5 mm	NM-8613 (不燃材料)
無機繊維強化石こうボード	12.5、15、21 mm	NM-8615 (不燃材料)
ロックウール吸音板	岩綿吸音板	告示第1400号 (不燃材料)
化粧繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号 (不燃材料)
繊維混入けい酸カルシウム板	6、8、10、12mm	告示第1400号 (不燃材料)
不燃シーリング石こうボード	不燃防水石こうボード 12.5 mm	NM-9639 (不燃材料)
無機質壁紙 1級+法定不燃材料、不燃石こうボード		NM-9888~9954 (不燃材料) ※
石こうボード	準不燃石こうボード 9.5 mm	告示第1401号 (準不燃材料)
化粧石こうボード	9.5 mm	告示第1401号 (準不燃材料)
シーリング石こうボード	防水石こうボード 9.5 mm	QM-9826 (準不燃材料)
ビニル壁紙 2級+法定不燃材料 不燃石こうボード		QM-9393~9487 (準不燃材料) ※
		RM-9090~9324 (難燃材料) ※
塗料塗装	SOP・VE	NM-8585 (不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	QM-9816 (準不燃材料)
塗料塗装	SOP・VE	RM-9364 (難燃材料)

■ 材料表					
名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考	名称(符号)	材質・規格・寸法など	備考
磁器質タイル t 10			アルミ製巾木		アルマイト H=100
汚垂石 D=600			EP- II		
畳敷 t 60			トドマツ羽目板 t 12		OSCL
タイルカーベット t 6.5	東リ：GA100 同等品		岩綿吸音板 t 12		
タイルカーベット t 9	東リ：GA100 同等品 OAフロア (置敷タイプ)		化粧GB t 9.5		
ビニル床シート t 2.5	東リ：フロアリュウム (マーブルNW同等品)		OAフロア (置敷タイプ)		H=50
木製巾木	H=100 OSCL		免震OAフロア		H=250
ソフト巾木	東リ：スタンダード H=100 同等品				

注	本表は本工事に用いる内外装仕上を表す。	TITLE (仮称) 上土幌町役場庁舎等改修 基本設計 (案)	NAME 役場庁舎棟 内部仕上表 (4)	SCALE -	
	凡例・共通事項・材料表に記載の事項は、本表以外の設計図にも適用する。				
	※ 壁装材不燃認定番号は各メーカー毎に確認する。	NO. A - 07	DATE 2023.10.28. 2023.12.05. 2024.02.24.	SIGN	PHASE 参考図



* 詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。



■ 新棟 床面積

容積対象床面積	: 1,181.77 m ²
自動車車庫等の部分	: 38.22 m ²
ポーチ・テラス等	: 162.95 m ²

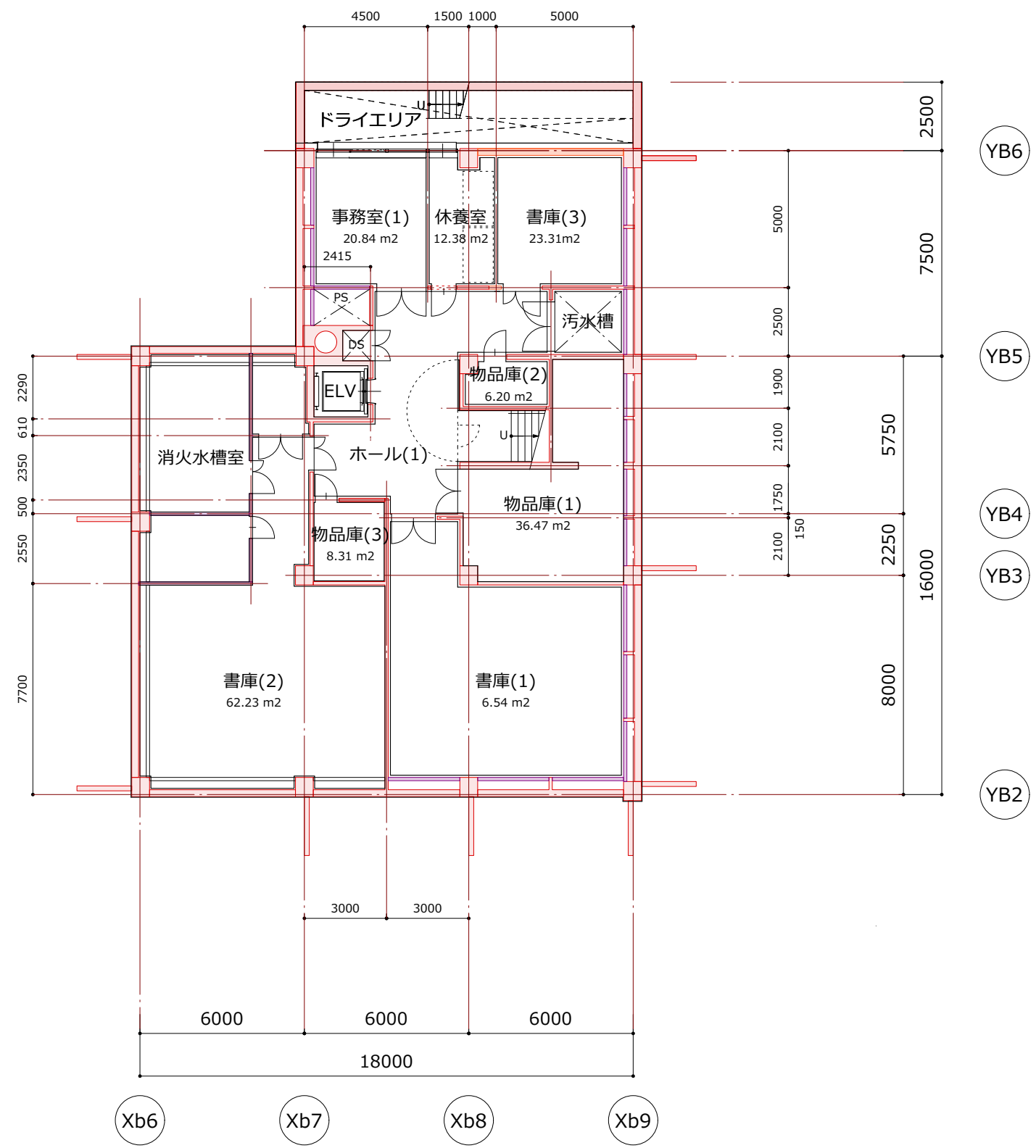
■ 凡例

* 特記なき配管ピット底は、捨てコンクリート t 50とする。
 * 基礎外周部・ピット側面 (ハッチ部分) は、
 断熱材: A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 b t 100
 打込みとする。

* 詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。

基礎伏図・ピット平面図

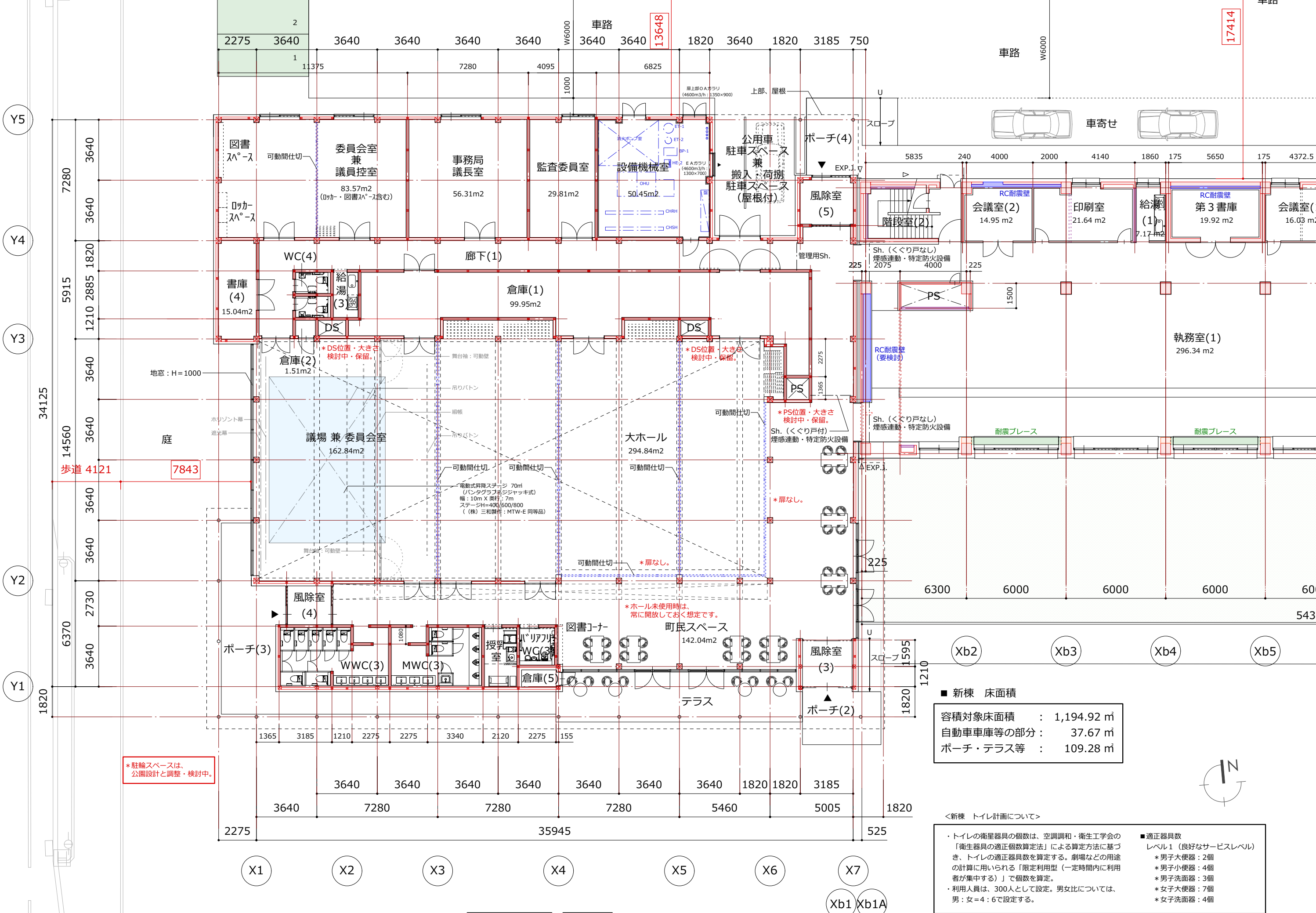
参考図



参考図



* 詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。



*駐輪スペースは、公園設計と調整・検討中。

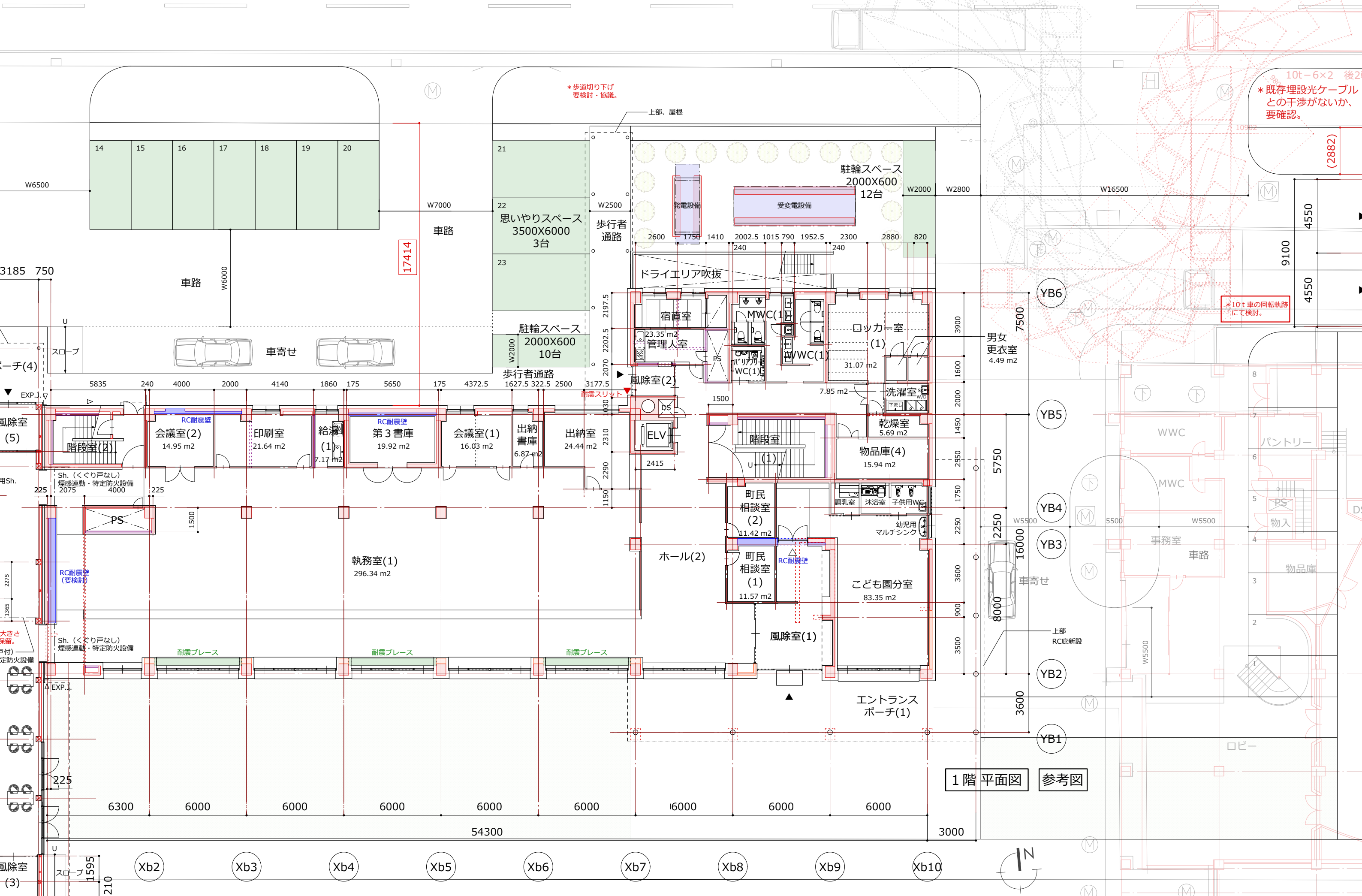
■ 新棟 床面積

容積対象床面積	: 1,194.92 m ²
自動車庫等の部分	: 37.67 m ²
ポーチ・テラス等	: 109.28 m ²

<新棟 トイレ計画について>

<ul style="list-style-type: none"> トイレの衛生器具の個数は、空調調和・衛生工学会の「衛生器具の適正個数算定法」による算定方法に基づき、トイレの適正器具数を算定する。劇場などの用途の計算に用いられる「限定利用型（一定時間内に利用者が集中する）」で個数を算定。 利用人員は、300人として設定。男女比については、男：女=4：6で設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適正器具数 レベル1（良好なサービスレベル） * 男子大便器：2個 * 男子小便器：4個 * 男子洗面器：3個 * 女子大便器：7個 * 女子洗面器：4個
---	---

1階 平面図 参考図



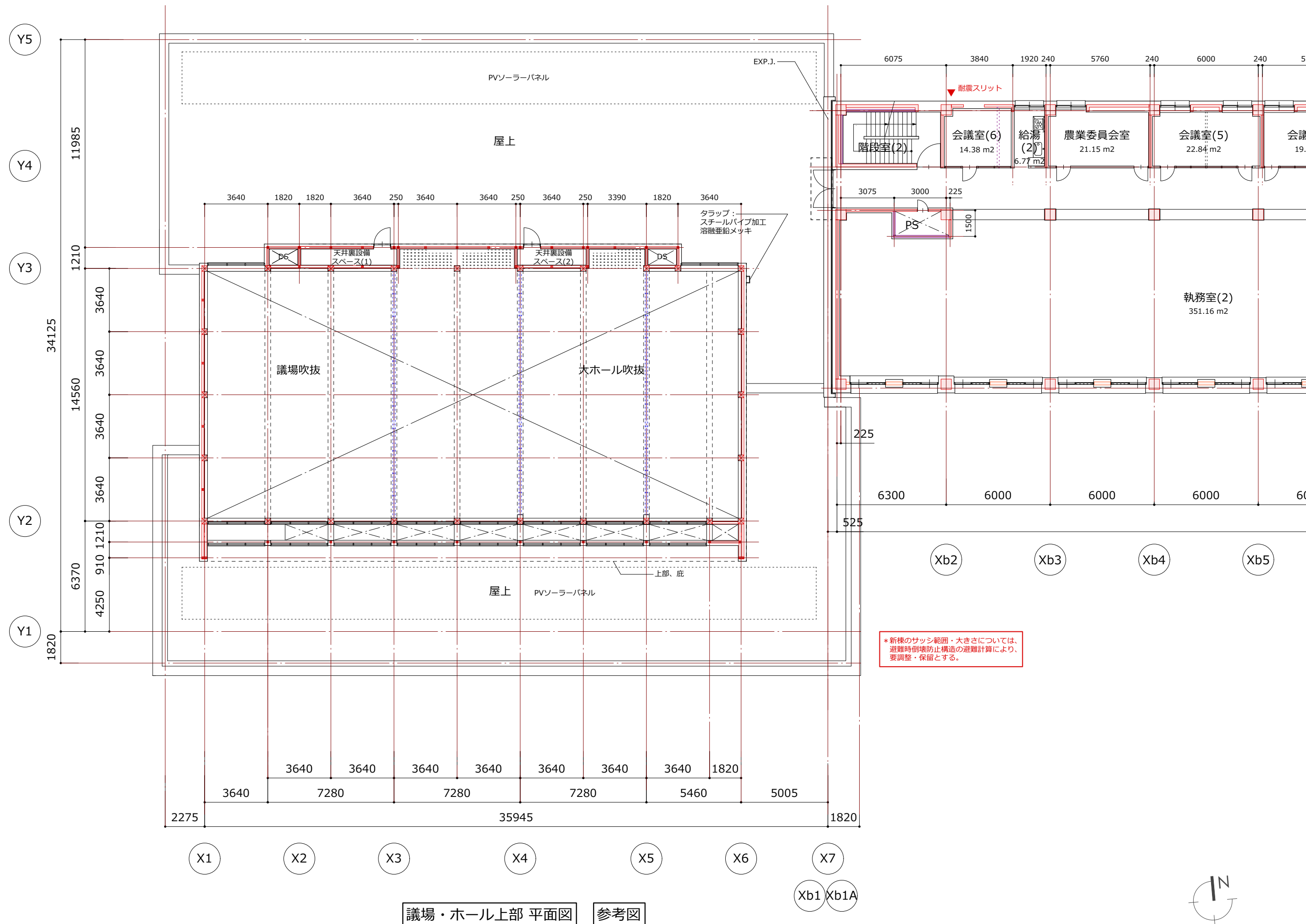
10t-6x2 後2
 *既存埋設光ケーブルとの干渉がないか、要確認。

*10t車の回転軌跡にて検討。

*歩道切り下げ要検討・協議。

1階 平面図 参考図

*詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。

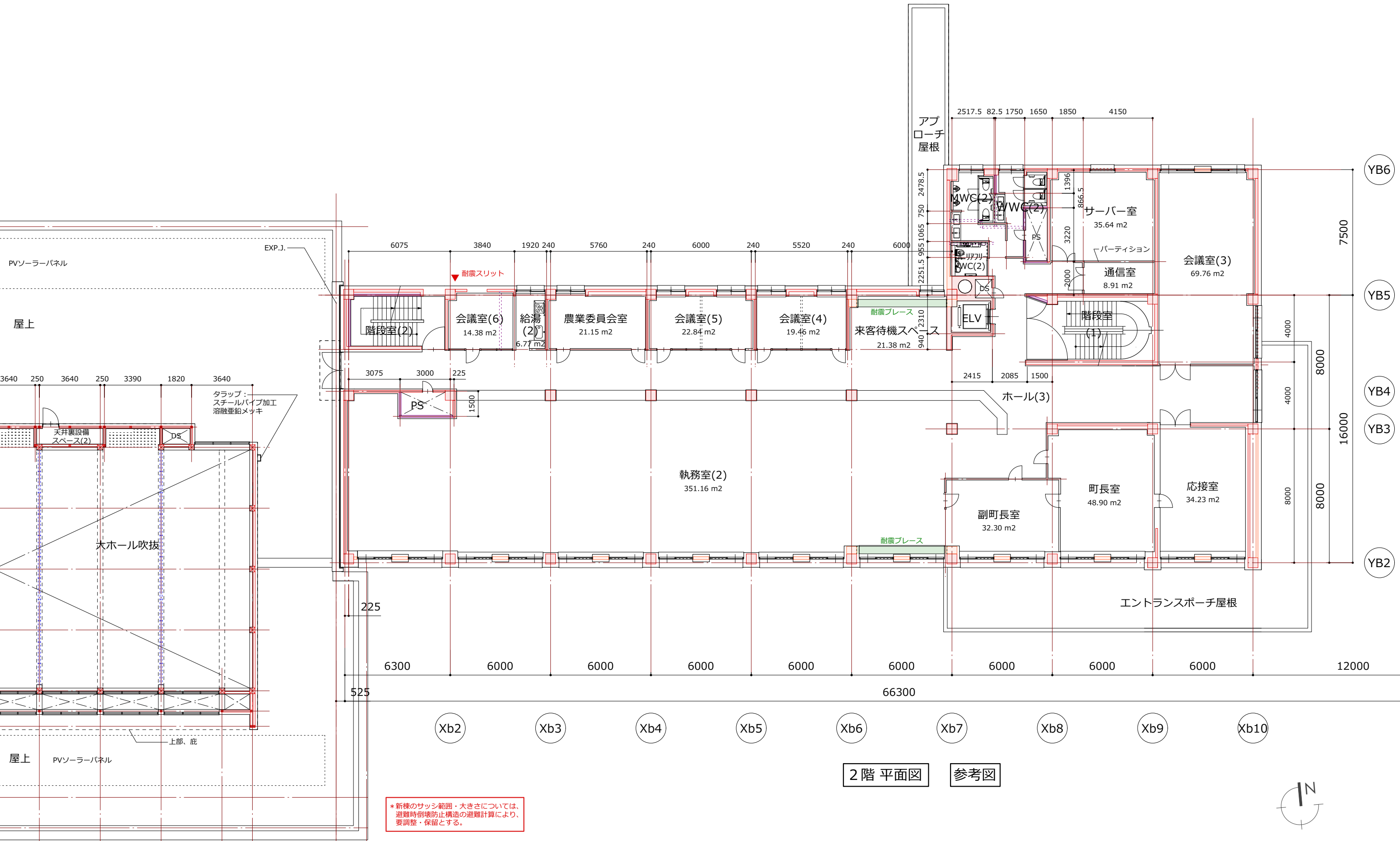


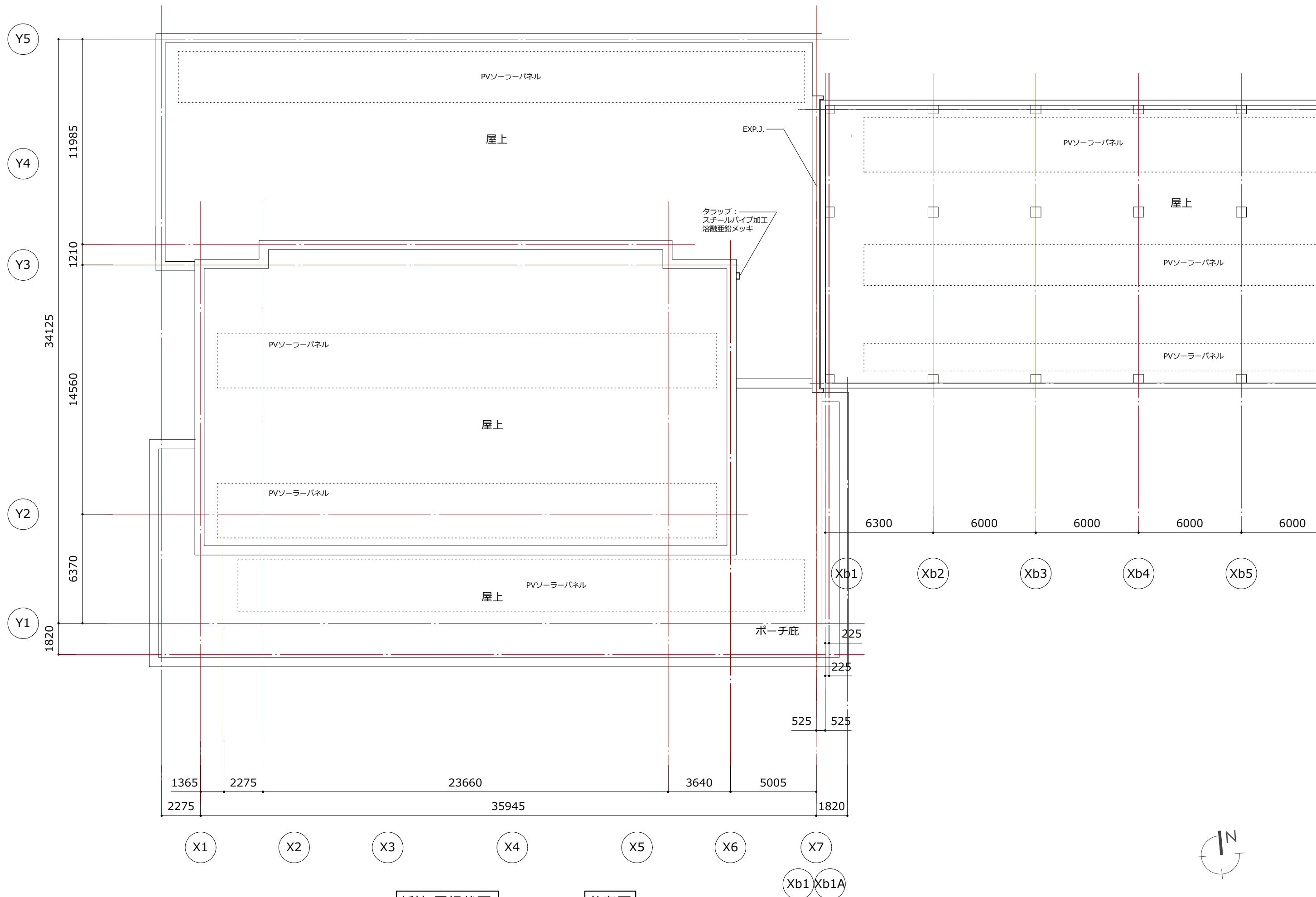
議場・ホール上部 平面図

参考図

*新棟のサッシ範囲・大きさについては、避難時倒壊防止構造の避難計算により、要調整・保留とする。



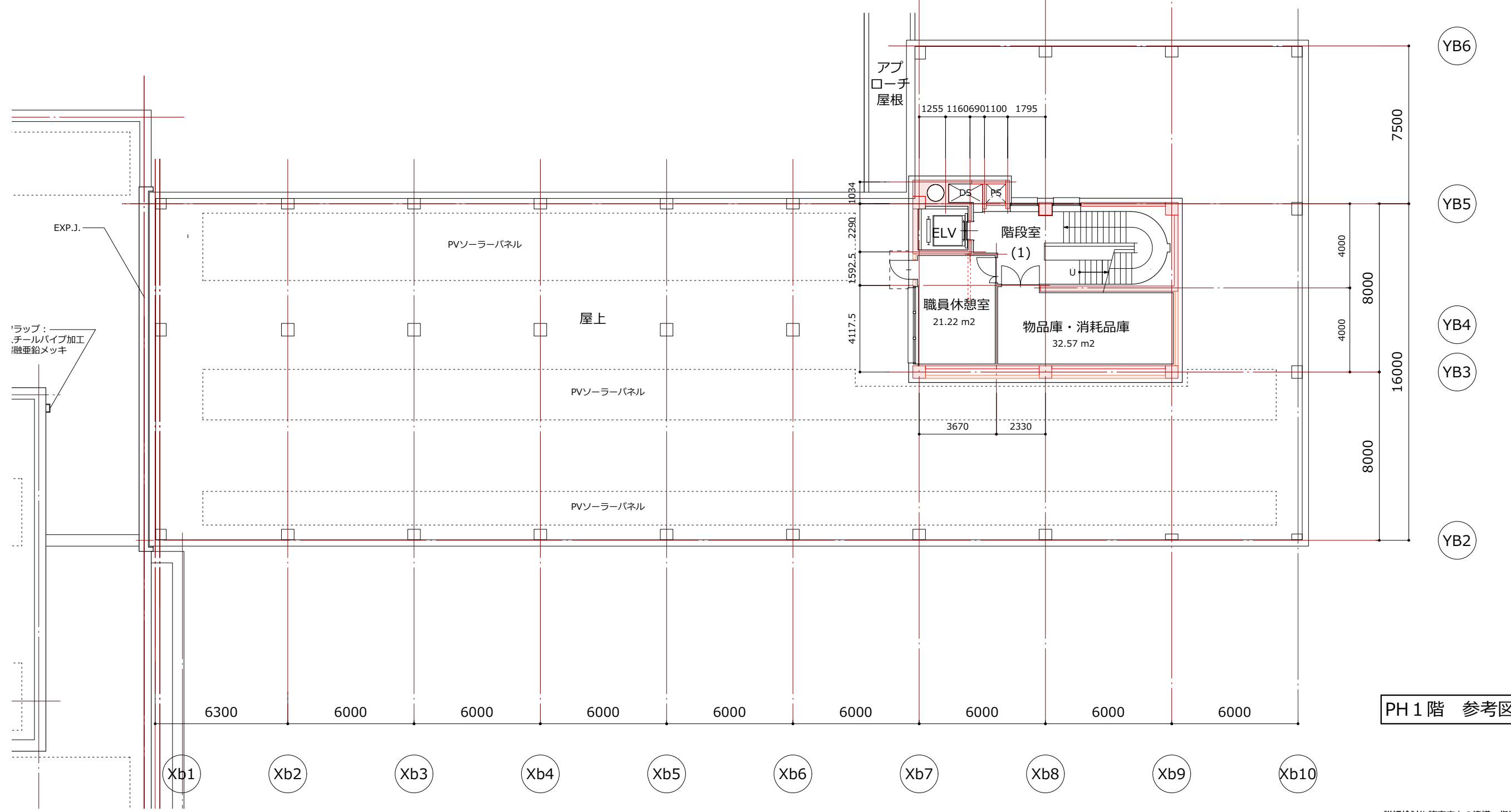
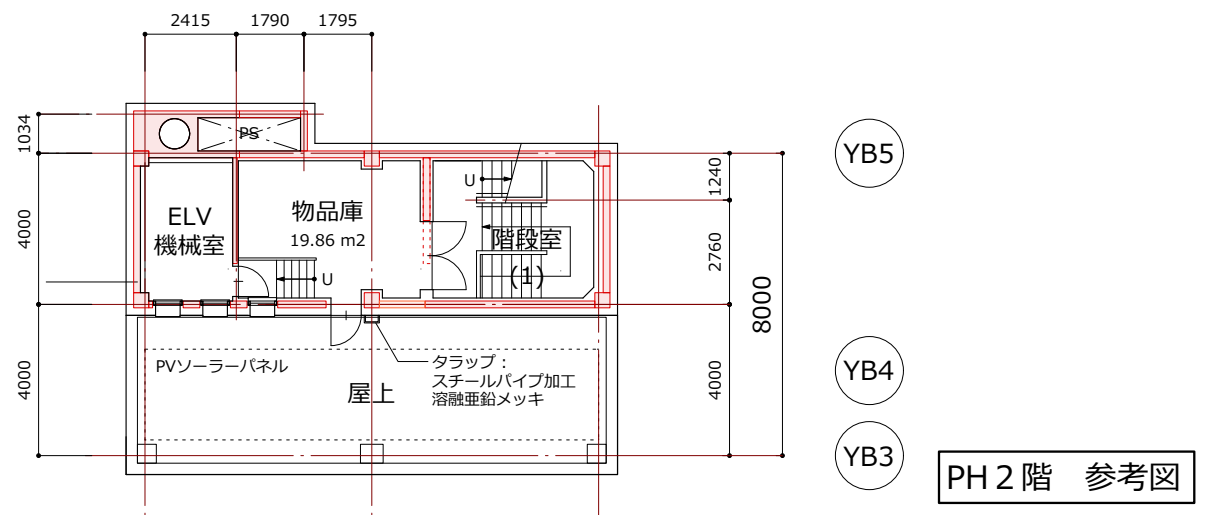
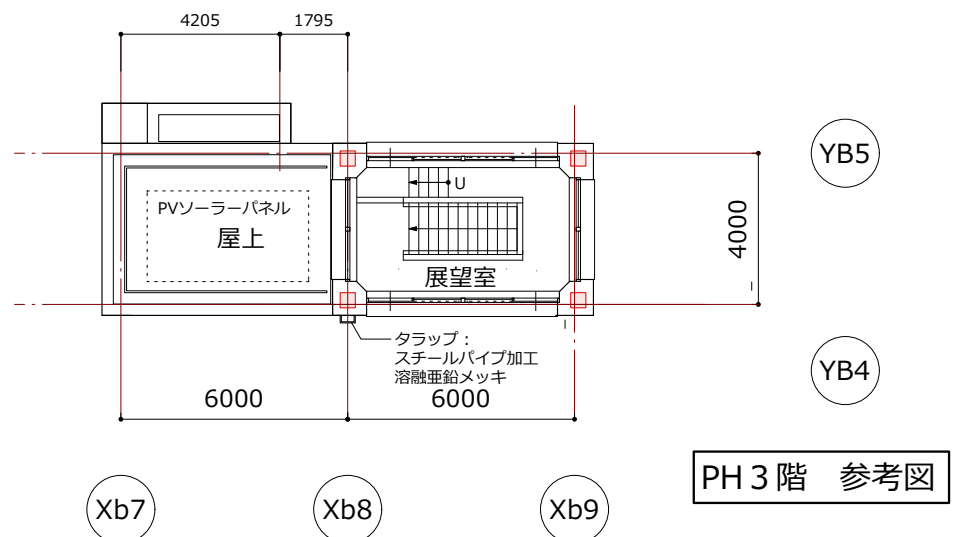




新棟 屋根伏図

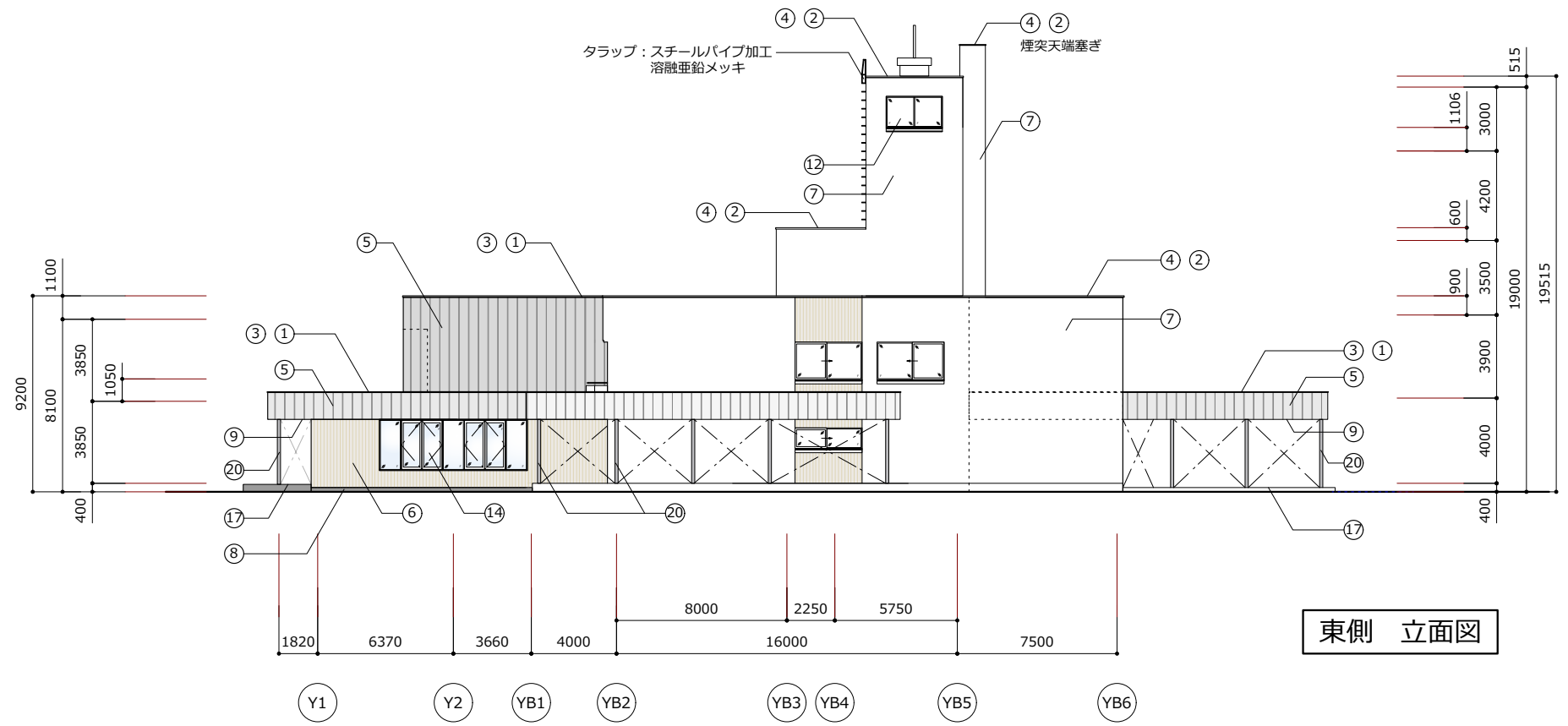
参考図

*詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。



* 詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。

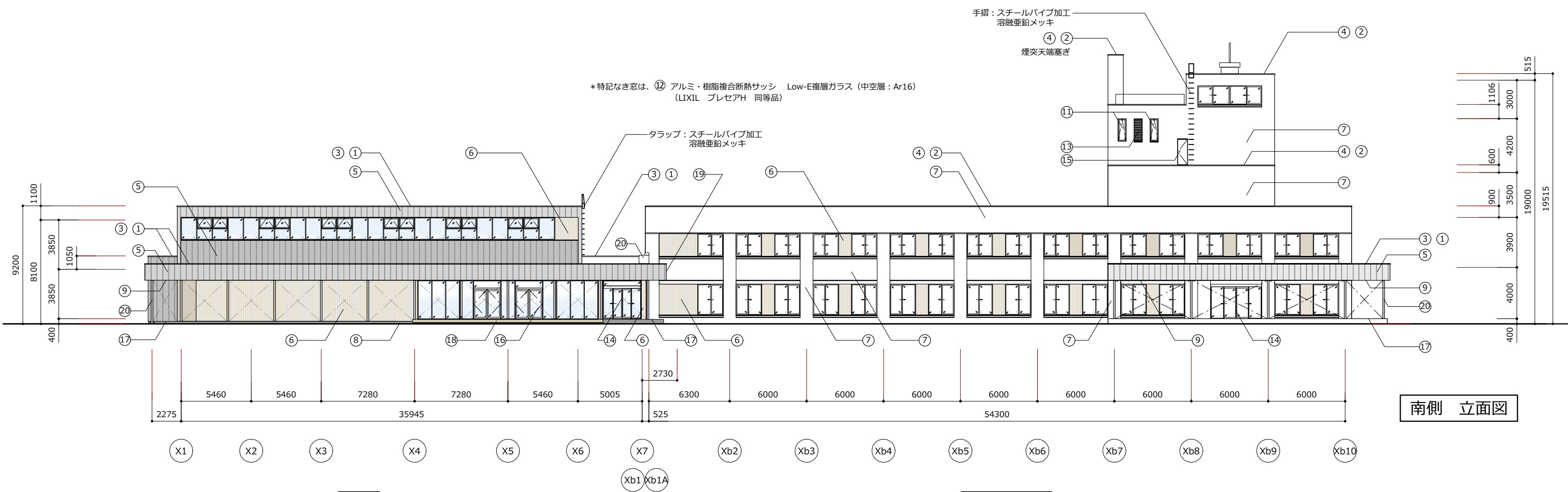
① 新棟・既存役場棟ポーチ 屋根：シート防水 接着工法	⑪ 樹脂製断熱サッシ Low-Eペアガラス（中空層：Ar16） （エクセルシャノン シヤノンウインドRI Lシリーズ 同等品）
② 既存役場棟 屋根：改質アスファルト防水（歩行用・外断熱工法） 保護コンクリート t 80	⑫ アルミ・樹脂複合断熱サッシ Low-E複層ガラス（中空層：Ar16） （LIXIL プレセアH 同等品）
③ 新棟・既存役場棟ポーチ 軒先水切：塩ビ積層鋼板 t 0.6 曲げ加工	⑬ アルミ製ガラリ 電解二次着色
④ 既存役場棟 笠木：アルミ笠木（既製品） 電解二次着色	⑭ ステンレス製框ドア・サッシ 強化ガラス
⑤ 新棟 外壁・破風：SGL鋼板 t 0.35 立平葺	⑮ 鋼製ドア UE塗装
⑥ 新棟 外壁：トドマツ杉羽目板 t 15 木材保護塗料3回塗り	⑯ 木製断熱サッシ Low-E複層ガラス（中空層：Ar16） （m.a.p. SBウォール・ALUFACE 同等品）
⑦ 既存役場棟 外壁：湿式外断熱工法 可とう形外装薄塗材E	⑰ ポーチ床：磁器質タイル 300X300 張り コンクリート下地 一部、ゴムマット落とし込み敷
⑧ 新棟 腰壁：繊維混入モルタル t 10刷毛引き仕上	⑱ テラス床：防腐・防蟻処理カラマツデッキ材 t 30 敷 木下地 RC基礎
⑨ 軒天：トドマツ縁甲板 t 15 木材保護塗料3回塗り	⑲ EXP.J.：アルミ既製品 電解二次着色
⑩ 軒天：高圧木毛セメント板 t 15 OP塗装 +スラグせつこう板 t 8（NBL：アスノン 同等品）	⑳ 新棟・既存役場棟ポーチ 独立柱：スチール丸パイプ φ165.2 X 5.0 フェロドール塗装



東側 立面図

新棟

役場庁舎棟



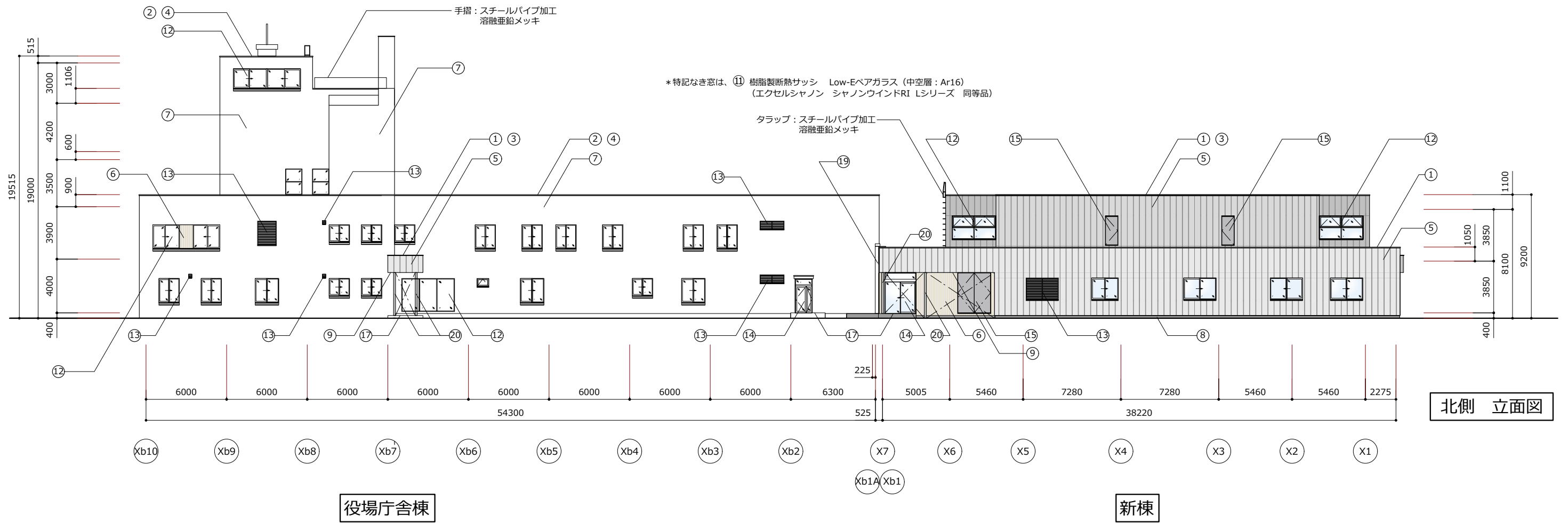
南側 立面図

新棟

役場庁舎棟

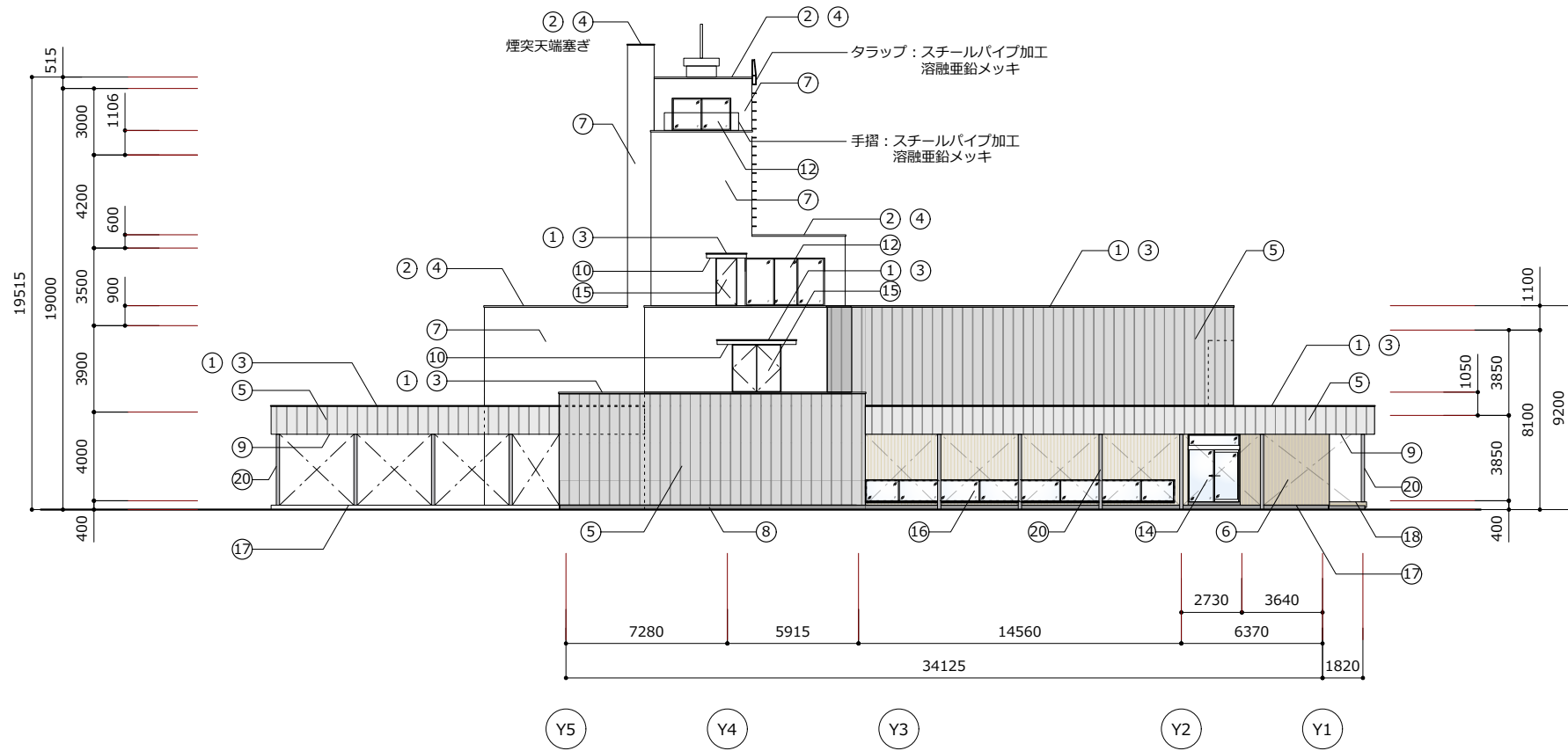
*特記なき窓は、⑫ アルミ・樹脂複合断熱サッシ Low-E複層ガラス（中空層：Ar16）
（LIXIL プレセアH 同等品）

*詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。



役場庁舎棟

新棟

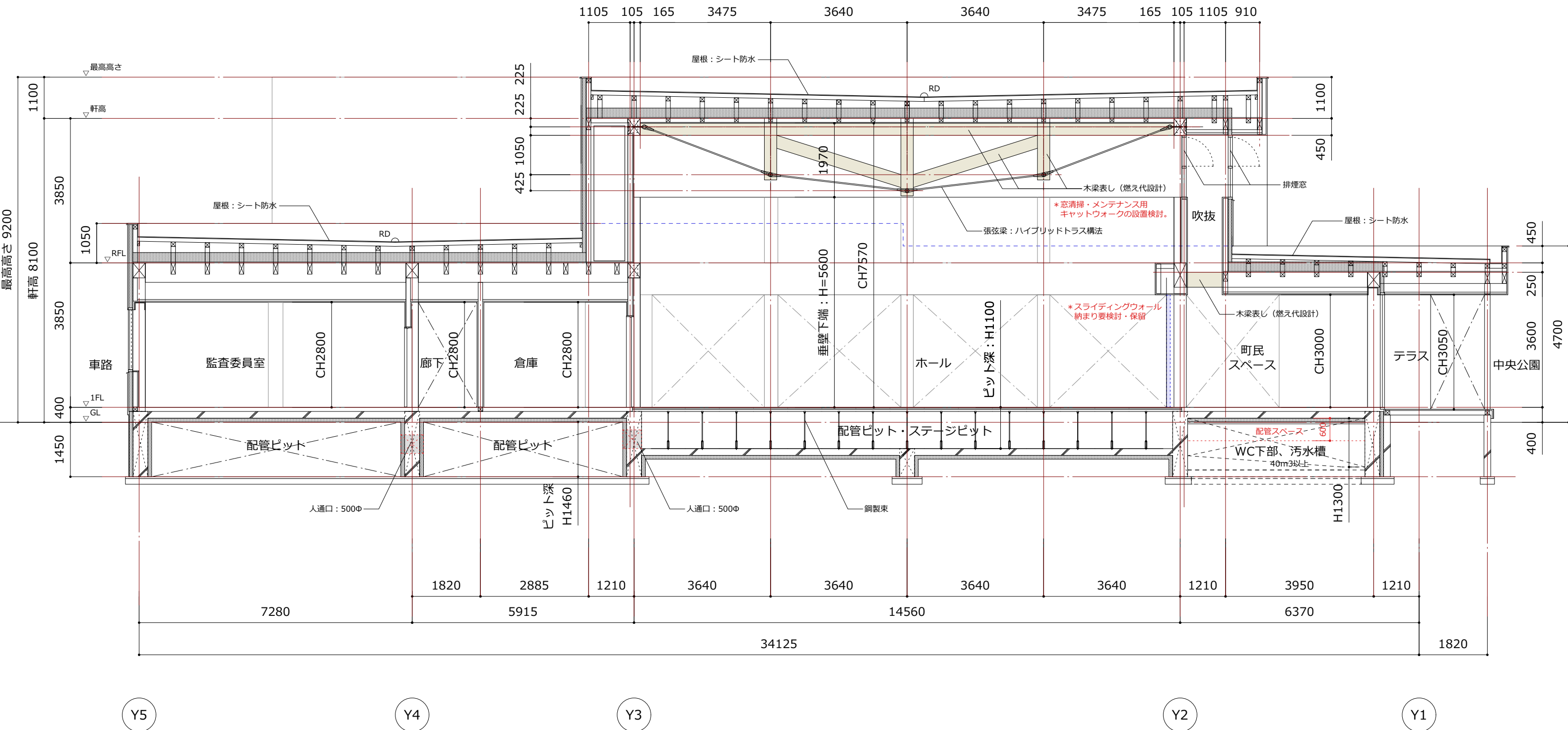


新棟

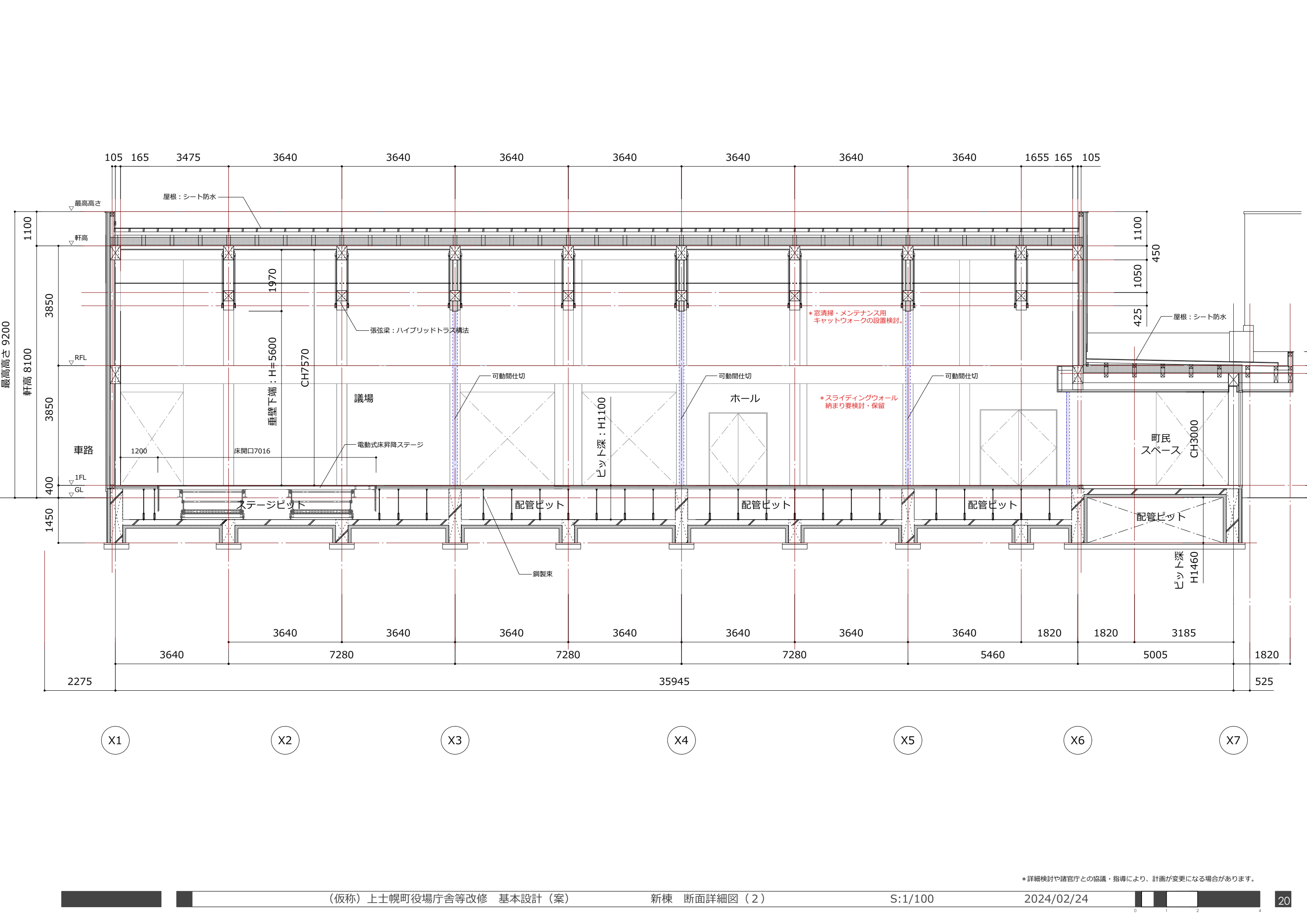
①	新棟・既存役場棟ポーチ 屋根: シート防水 接着工法	⑪	樹脂製断熱サッシ Low-Eペアガラス (中空層: Ar16) (エクスルシャノン シャノンウインドRI Lシリーズ 同等品)
②	既存役場棟 屋根: 改質アスファルト防水 (歩行用・外断熱工法) 保護コンクリート t80	⑫	アルミ・樹脂複合断熱サッシ Low-E複層ガラス (中空層: Ar16) (LIXIL プレゼアH 同等品)
③	新棟・既存役場棟ポーチ 軒先水切: 塩ビ積層鋼板 t0.6 曲げ加工	⑬	アルミ製ガラリ 電解二次着色
④	既存役場棟 笠木: アルミ笠木 (既製品) 電解二次着色	⑭	ステンレス製ドア・サッシ 強化ガラス
⑤	新棟 外壁: 破風: SGL鋼板 t0.35 立平葺	⑮	銅製ドア UE塗装
⑥	新棟 外壁: トドマツ杉羽目板 t15 木材保護塗料3回塗り	⑯	木製断熱サッシ Low-E複層ガラス (中空層: Ar16) (m.a.p. SBウォール・ALUFACE 同等品)
⑦	既存役場棟 外壁: 湿式外断熱工法 可とう形外装薄塗材 E	⑰	ポーチ床: 磁器質タイル 300X300 張り コンクリート下地 一部、ゴムマット落とし込み敷
⑧	新棟 腰壁: 繊維混入モルタル t10刷毛引き仕上	⑱	テラス床: 防腐・防蟻処理カラマツデッキ材 t30 敷 木下地 RC基礎
⑨	軒天: トドマツ線甲板 t15 木材保護塗料3回塗り	⑲	EXP.J.: アルミ既製品 電解二次着色
⑩	軒天: 高圧木モセメント板 t15 OP塗装 +スラグせっこう板 t8 (NBL: アスノン 同等品)	⑳	新棟・既存役場棟ポーチ 独立柱: スチール丸パイプ Φ165.2 X 5.0 フェロドール塗装

西側 立面図

*詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。



*詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。



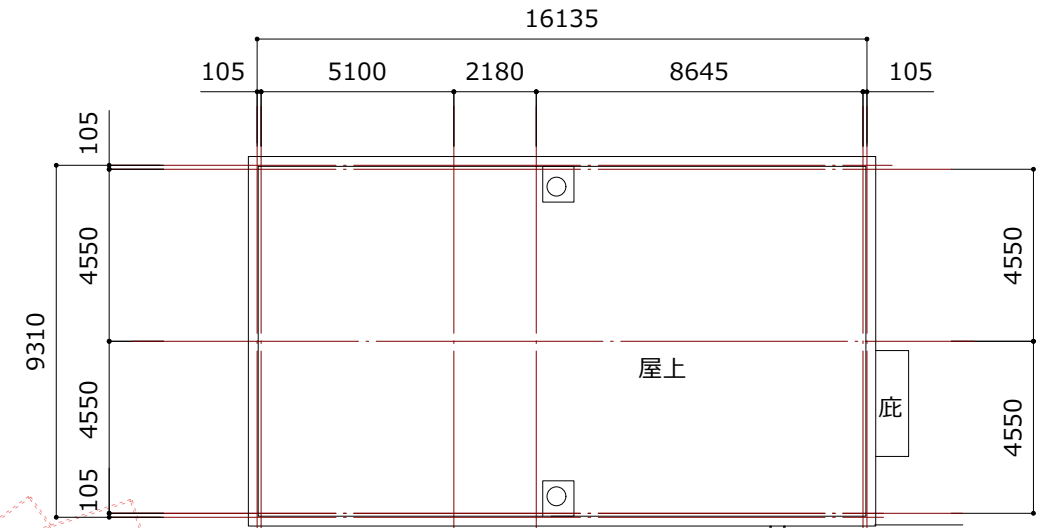
*詳細検討や諸官庁との協議・指導により、計画が変更になる場合があります。

■ バイオマスボイラー棟 建築概要

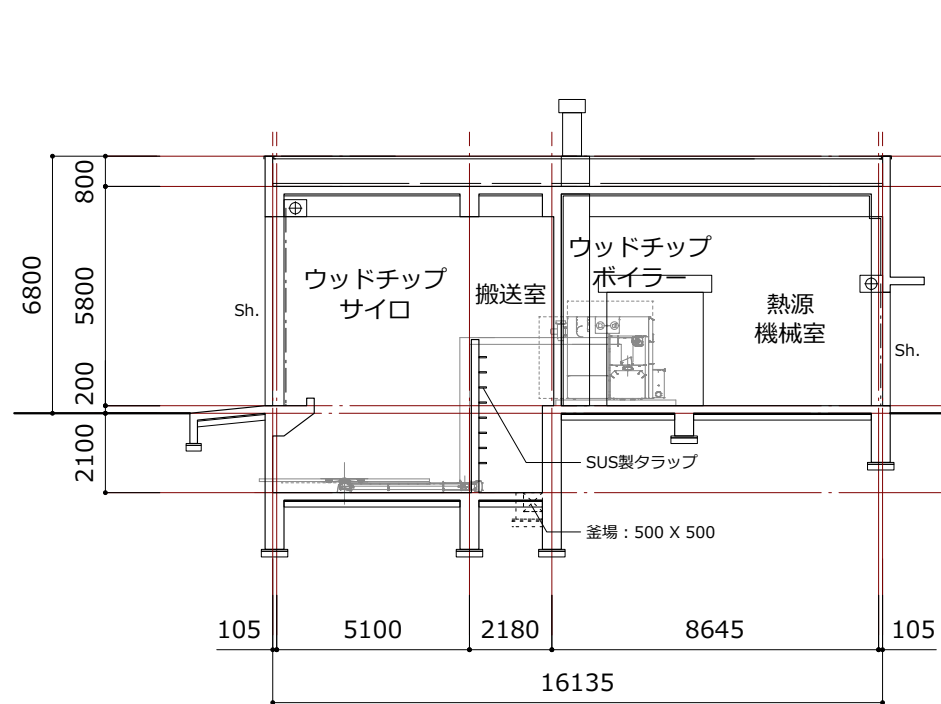
- 建築面積 : 150.22 m²
- 延べ面積 : 150.22 m²
- 階数 : 地上 1 階/地下 0 階/塔屋 0 階
- 最高高さ : 6.8m
- 軒高 : 6.0m

- 外部仕上
 - * 屋根 : 保護コンクリート t 80
改質アスファルト防水 (歩行用)
コンクリートスラブ下地
 - * 笠木 : アルミ笠木 (既製品) 電解二次着色
 - * 外壁 : 可とう形外装薄塗材 E
コンクリート打ち放し補修下地
 - * 地中外壁部 : 自閉性塗膜防水
 - * 床下断熱材 : FP板 t 30
 - * 庇 : 塗膜防水
コンクリート下地
 - * 軒天 : コンクリート打ち放し補修
 - * 建具 : 鋼製扉 UE塗装・鋼製シャッター UE塗装
 - * タラップ : スチールパイプ加工 溶融亜鉛メッキ

- 内部仕上
 - <ウッドチップサイロ・搬送室>
 - * 天井 : 断熱複合板 (FP板 t 50 + 木毛セメント板 t 15) 素地
コンクリート打込み
 - * 廻り縁 : なし
 - * 壁 : コンクリート打ち放し素地
 - * 床 : コンクリート打ち放し補修
 - * その他 : SUS製タラップ・釜場 : 500 X 500
 - <ウッドチップボイラー・熱源機械室>
 - * 天井 : 断熱複合板 (FP板 t 50 + 木毛セメント板 t 15) 素地
コンクリート打込み
 - * 廻り縁 : なし
 - * 壁 : 断熱複合板 (FP板 t 50 + 木毛セメント板 t 15) 素地
コンクリート打込み
 - * 床 : 防塵塗装 コンクリート打ち放し補修下地
 - * その他 : 煙突



バイオマスボイラー棟 屋根伏図 S:1/200

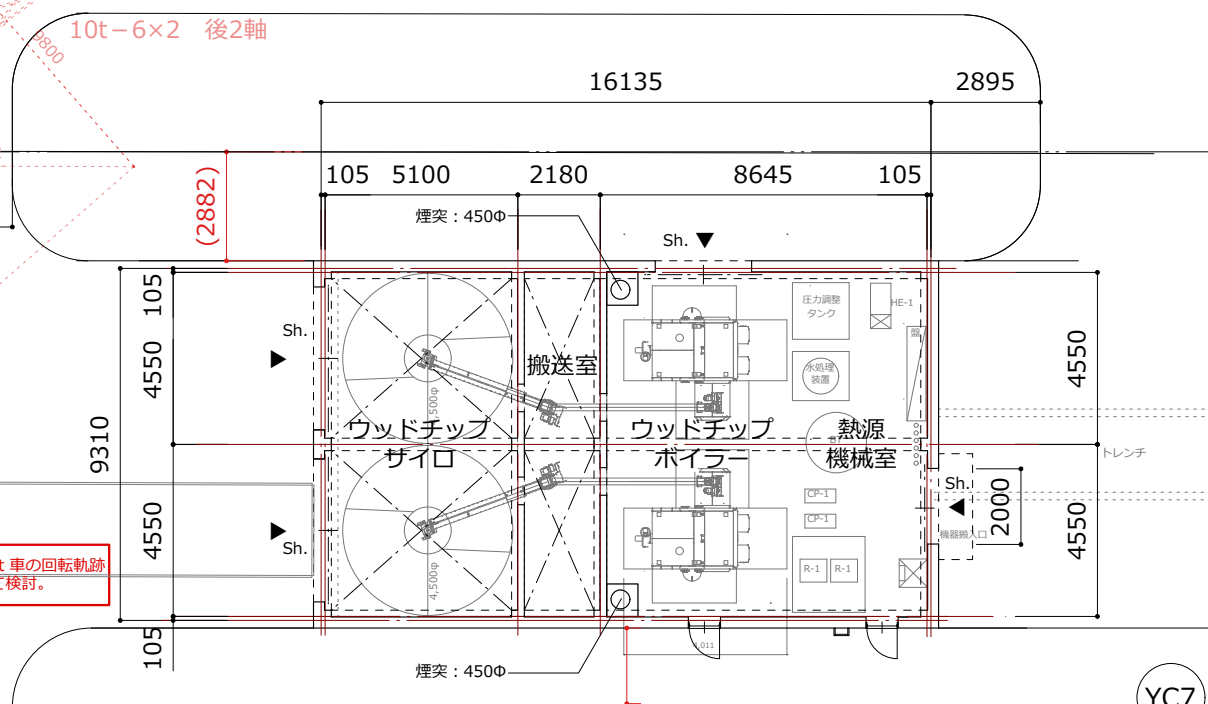


A - A' 断面図 S:1/200

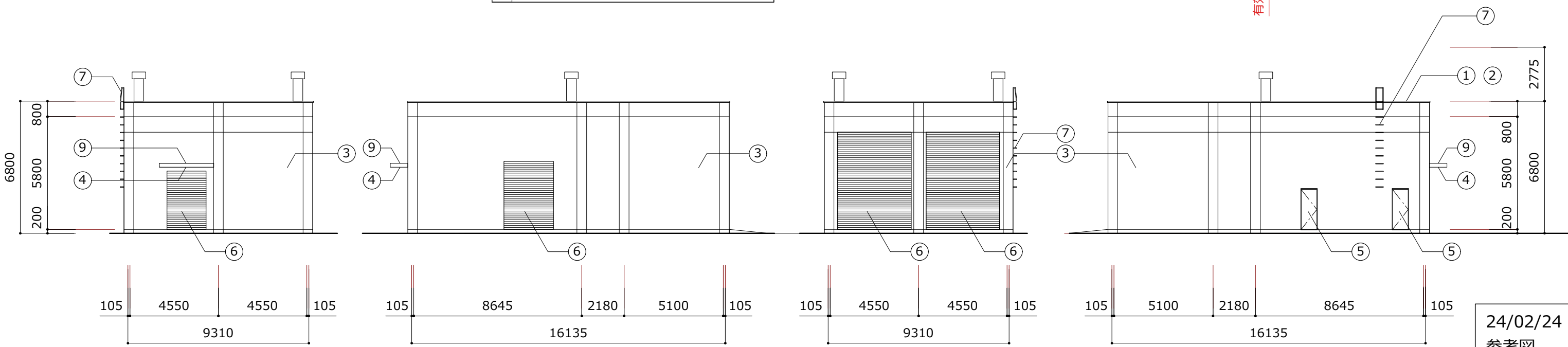
①	屋根 : 改質アスファルト防水 (歩行用) 保護コンクリート t 80
②	笠木 : アルミ笠木 (既製品) 電解二次着色
③	外壁 : 可とう形外装薄塗材 E コンクリート下地
④	軒天 : コンクリート打ち放し補修
⑤	鋼製ドア UE塗装
⑥	鋼製シャッター UE塗装
⑦	タラップ : スチールパイプ加工 溶融亜鉛メッキ
⑧	目隠し壁 : アルミルーバー (ルーバーガラスシャッター : フルガラス84R V-2程度) 支持柱 : St. H-150 X 150 溶融亜鉛メッキ
⑨	庇 : 塗膜防水

* 既存埋設光ケーブルとの干渉がないか、要確認。

* 10 t 車の回転軌跡にて検討。



バイオマスボイラー棟 平面図 S:1/200



東側 立面図 S:1/200

北側 立面図 S:1/200

西側 立面図 S:1/200

南側 立面図 S:1/200

24/02/24
参考図